

一般廃棄物（ごみ）処理基本計画

平成27年 3 月

日向東臼杵広域連合



目 次

| | |
|-------------------|----|
| ■ 第1節 基本計画の概要 | |
| 1. 背景及び趣旨 | 1 |
| 2. 計画の位置づけ | 1 |
| 3. 計画期間及び目標年度 | 2 |
| 4. 計画対象区域 | 2 |
| 5. 計画の範囲 | 2 |
| ■ 第2節 圏域の現状 | |
| 1. 社会環境 | 3 |
| 2. ごみ処理の状況 | 9 |
| 3. 将来値の推計 | 26 |
| 4. 広域処理体制 | 31 |
| ■ 第3節 施策・事業の取り組み | |
| 1. 構成市町村 | 33 |
| 2. 広域連合 | 35 |
| ■ 第4節 検証・評価 | |
| 1. 排出量の現状 | 36 |
| 2. 焼却量の現状 | 37 |
| 3. 目標達成状況と評価 | 38 |
| 4. 広域連合の課題 | 40 |
| ■ 第5節 基本計画（中間見直し） | |
| 1. 基本方針 | 41 |
| 2. 目 標 | 41 |
| 3. 計画を推進するための施策等 | 45 |

第1節 基本計画の概要

1 背景及び趣旨

日向東臼杵広域連合（以下「広域連合」という。）では、ごみ処理の広域化による効率的、機能的な焼却施設の管理運営と圏域内の廃棄物排出抑制、再利用、再生利用を推進するため、構成市町村の一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（以下「ごみ処理基本計画」という。）との整合性を図りながら、広域連合としての施策の目標と具体的な目標値を明確にしたごみ処理基本計画（以下「本計画」という。計画期間：平成22年度～36年度）を平成22年3月に策定しました。

計画策定後、この間、日向市をはじめとする構成市町村の積極的なごみ減量化、資源化施策の推進により、清掃センターへのごみ搬入量（焼却量）は大幅な減少傾向にあり、また、平成22年度から26年度までの5箇年で実施した「清掃センター基幹的設備改良事業」により、清掃センターの施設設備が年次的に更新・改良されたことに伴ない、焼却機能が原状回復するとともに、施設の延命化が図られました。

さらに、平成24年度まで圏域外の民間最終処分場で処理されていました、門川町、美郷町、諸塚村、椎葉村から排出される不燃系一般廃棄物の中間処理残渣が、平成25年度からは日向市一般廃棄物最終処分場で処理されるようになったことから、広域連合構成市町村から排出される可燃系・不燃系一般廃棄物の処理残渣の全てが、日向市の最終処分場で共同処理されるようになるなど、本計画の策定当初からごみ処理の状況が大きく変化してきています。

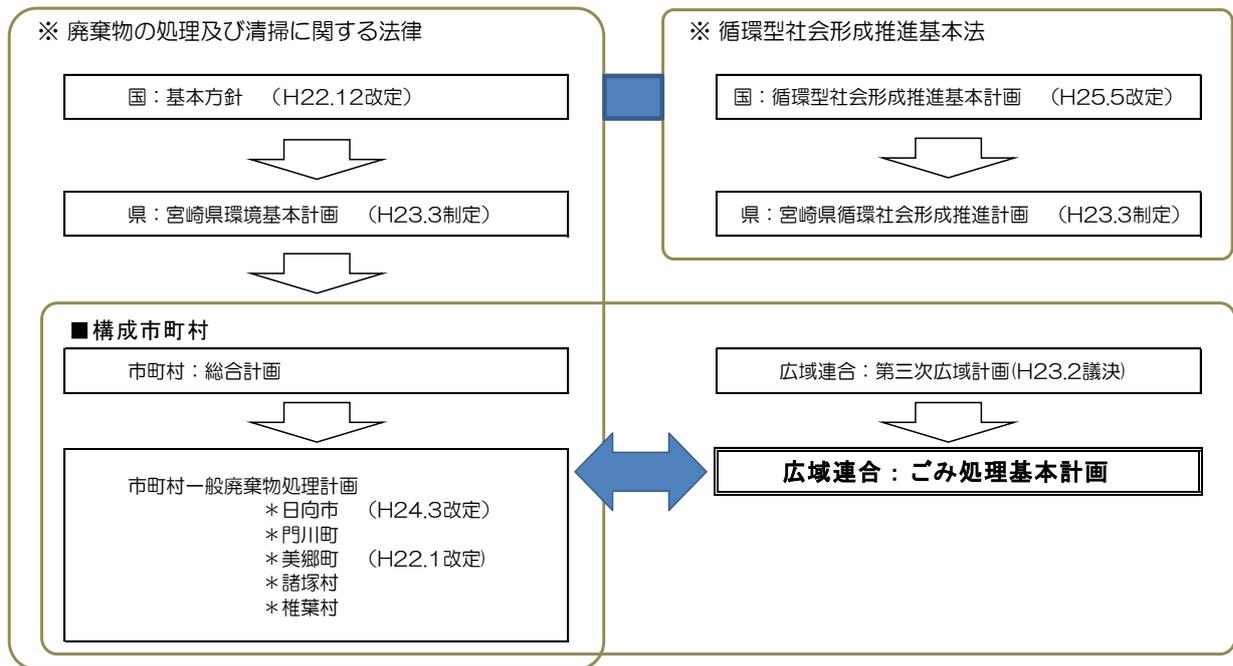
こうした状況を踏まえ、計画初年度からこれまでの取り組みを検証・評価し実情に即した見直しを行うとともに、新たな目標（値）を設定したごみ処理基本計画を策定するものです。

2 計画の位置づけ

ごみ処理基本計画及び同実施計画は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規定に基づき、ごみ処理に関し必要な措置を講ずべき市町村が定めることとされており、ごみ処理業務に関しては、市町村の計画に沿った取り組みがなされることが基本です。

よって本広域連合のごみ処理基本計画は、構成市町村が定める計画との整合性を図りつつ、圏域内の広域的な処理対策、処理体制の基本的方向性を示し、相互に連携・協力、また補完し合いながら取り組むための指針として位置づけるものです。

《計画の位置づけ》



3 計画期間及び目標年度

当初計画に基づき平成36年度までを計画期間とします。

また、今回の計画見直しによる計画の始期は平成27年度とし、5年後の平成31年度に見直しを行うこととします。同時に見直しに係る目標年度も5年後の平成31年度として目標値を設定（平成25年度実績を基準）します。

| 年度 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 |
|--------|---------------|----|----|---------|----|---------|----|----|----|----|----|----|----|----|------|----|
| 計画期間 | ← 計画期間(15年) → | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計画目標年度 | | | | 《今回見直し》 | | 目標(見直し) | | | | | | | | | 最終目標 | |

4 計画対象区域

広域連合を構成する市町村の圏域とします。

5 計画の範囲

本計画における計画処理対象廃棄物は、し尿を除く一般廃棄物とします。

第2節 圏域の現状

1 社会環境

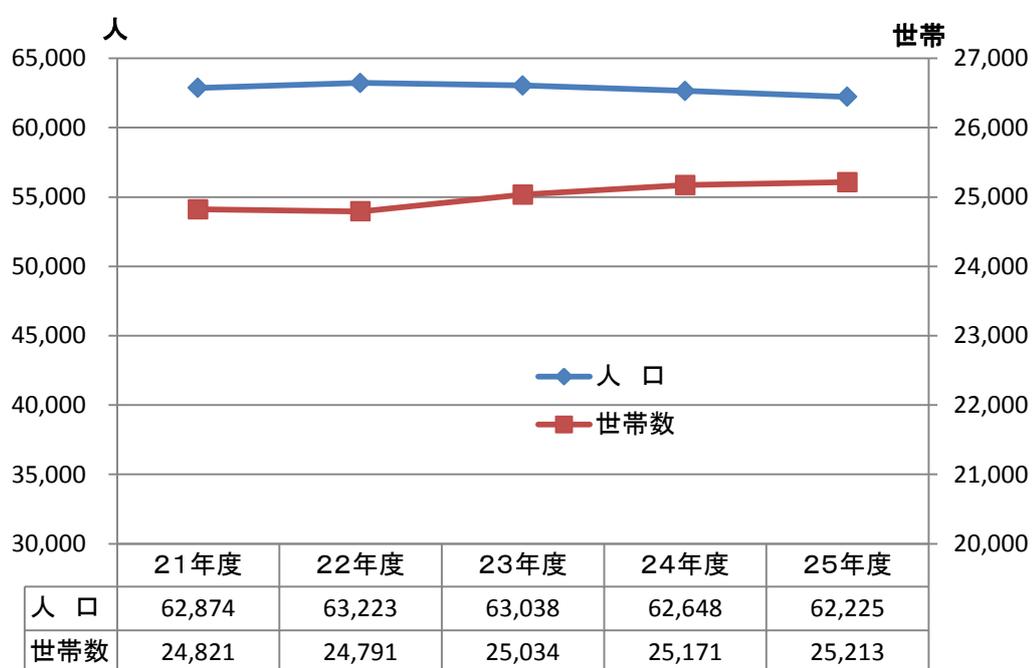
(1) 人口・世帯数

過去5箇年（平成21年度～25年度）の人口は、広域連合を構成する全市町村において緩やかな減少傾向にあります、世帯数は、圏域内全体で見ると横ばいの状況です。

※人口：毎年10月1日現在現住人口（外国人を除く。）

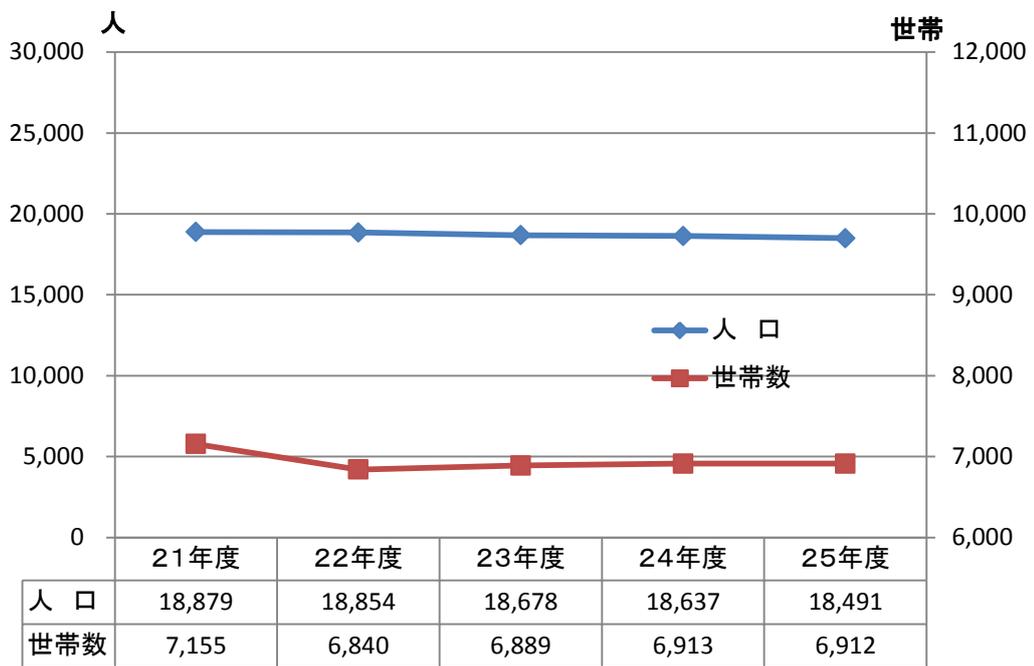
※資料：宮崎県統計調査課「宮崎の推計人口」

《日向市》

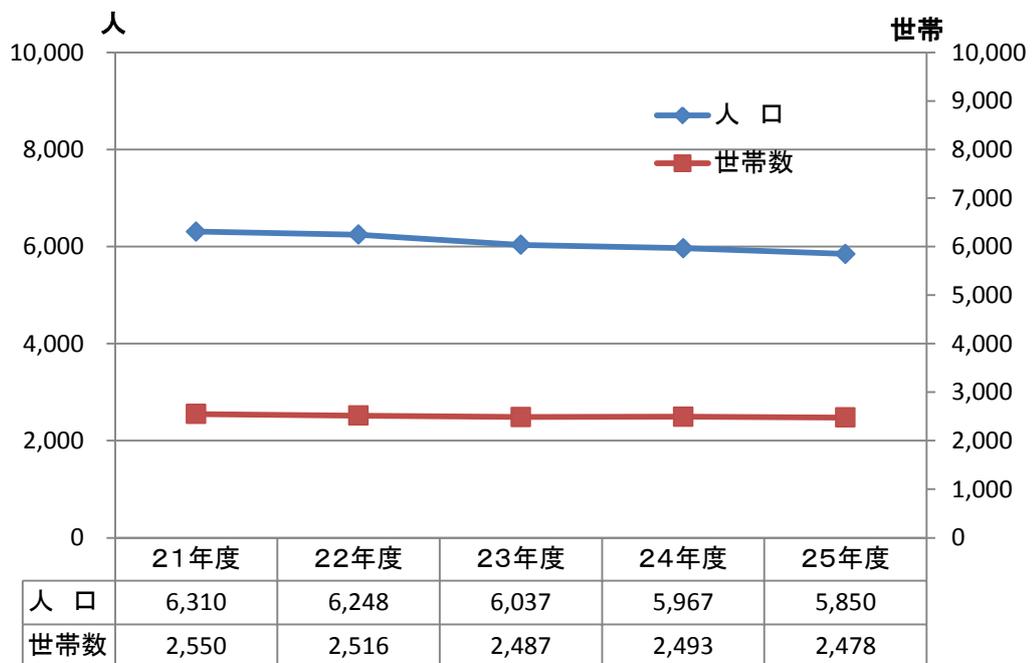


第2節 圏域の現状

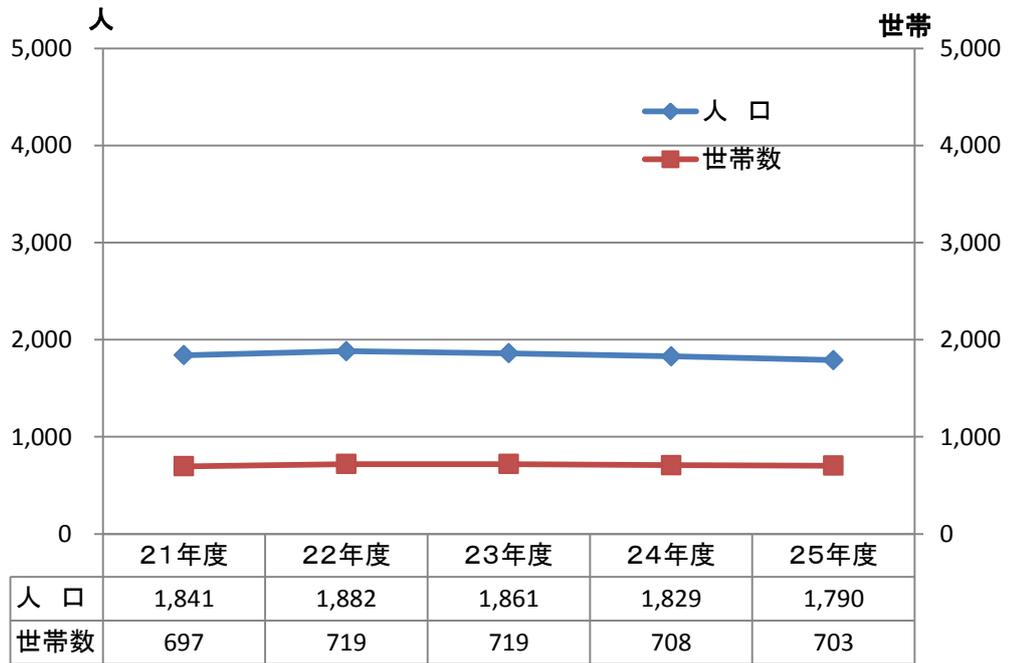
《門川町》



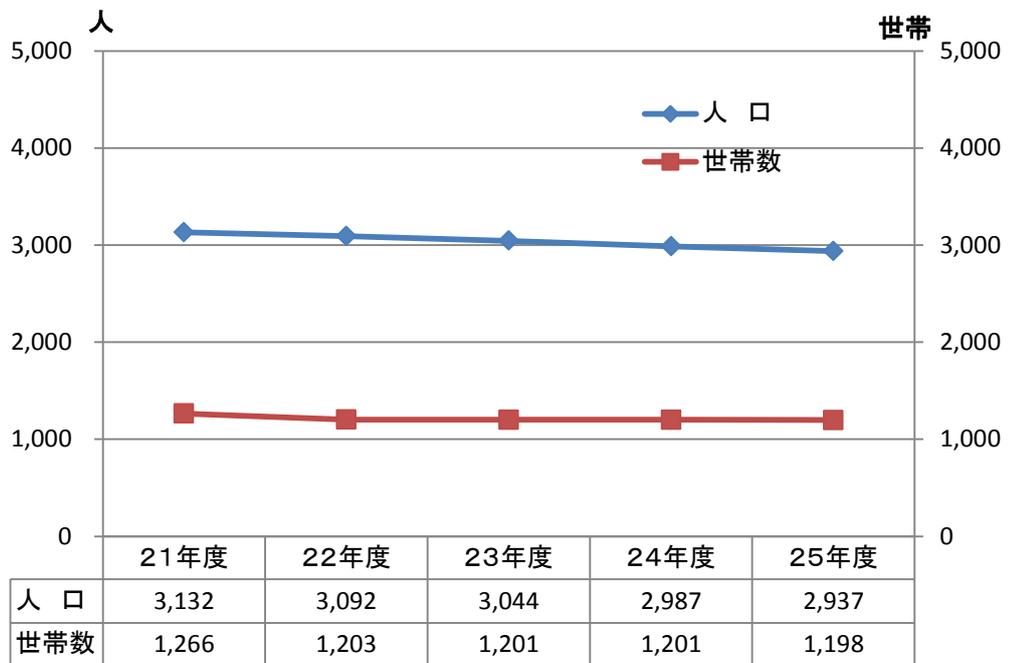
《美郷町》



《諸塚村》

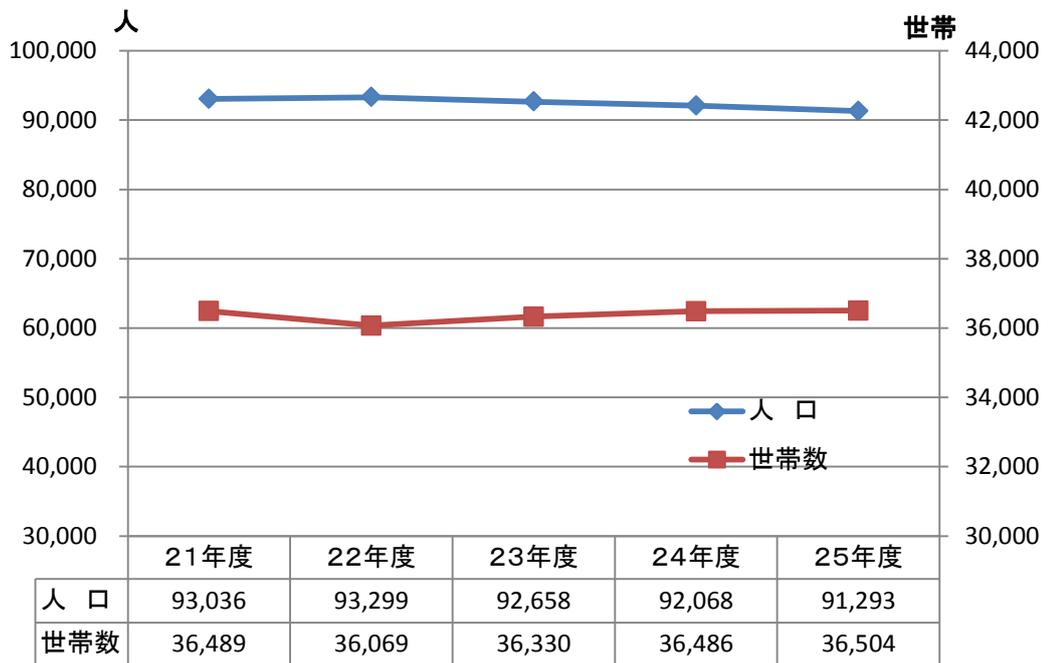


《椎葉村》



第2節 圏域の現状

《圏域全体》



圏域全体の人口は、平成21年度比約1.9%（1,743人）減少しており、世帯数はほぼ横ばいで推移しています。

(2) 高齢化率

高齢者人口は、年々増加を続けており、平成25年度における65歳以上の人口の占める割合（高齢化率）をみると、日向市を除く2町2村では県平均を上回っています。

特に美郷町の場合、県内第1位の高齢化率となっています。

| | 人 口 | 老年人口 | 構成比率 |
|-----|--------|--------|-------|
| 日向市 | 62,225 | 16,745 | 26.9% |
| 門川町 | 18,491 | 5,238 | 28.3% |
| 美郷町 | 5,850 | 2,631 | 45.0% |
| 諸塚村 | 1,790 | 719 | 40.2% |
| 椎葉村 | 2,937 | 1,156 | 39.4% |
| 県平均 | - | - | 27.6% |

資料：宮崎県統計調査課「宮崎県の推計人口」

平成21年度以降の推移を見ると、いずれの市町村でも高齢化が徐々に進んでおり、また高齢者世帯数も、日向市、門川町において増加傾向が顕著です。

■高齢人口の推移

| | 平成21年度 | | | 平成22年度 | | | 平成23年度 | | | 平成24年度 | | | 平成25年度 | | |
|-----|--------|--------|-------|--------|--------|-------|--------|--------|-------|--------|--------|-------|--------|--------|-------|
| | 人 口 | 老年人口 | 構成比率 |
| 日向市 | 62,874 | 15,495 | 24.6% | 63,223 | 15,653 | 24.8% | 63,038 | 15,670 | 24.9% | 62,648 | 16,229 | 25.9% | 62,225 | 16,745 | 26.9% |
| 門川町 | 18,879 | 4,995 | 26.5% | 18,854 | 4,991 | 26.5% | 18,678 | 4,974 | 26.6% | 18,637 | 5,090 | 27.3% | 18,491 | 5,238 | 28.3% |
| 美郷町 | 6,310 | 2,729 | 43.2% | 6,248 | 2,686 | 43.0% | 6,037 | 2,600 | 43.1% | 5,967 | 2,611 | 43.8% | 5,850 | 2,631 | 45.0% |
| 諸塚村 | 1,841 | 716 | 38.9% | 1,882 | 716 | 38.0% | 1,861 | 700 | 37.6% | 1,829 | 709 | 38.8% | 1,790 | 719 | 40.2% |
| 椎葉村 | 3,132 | 1,189 | 38.0% | 3,092 | 1,174 | 38.0% | 3,044 | 1,166 | 38.3% | 2,987 | 1,157 | 38.7% | 2,937 | 1,156 | 39.4% |
| 県平均 | - | - | 25.6% | - | - | 25.8% | - | - | 25.9% | - | - | 26.7% | - | - | 27.6% |

資料：宮崎県統計調査課「宮崎県の推計人口」
各年度10月1日現在現住人口

■高齢者世帯の推移

| | 12年度 | 17年度 | 22年度 |
|-----|-------|-------|-------|
| 日向市 | 2,214 | 2,549 | 2,790 |
| 門川町 | 677 | 779 | 886 |
| 美郷町 | 491 | 525 | 501 |
| 諸塚村 | 110 | 118 | 117 |
| 椎葉村 | 184 | 197 | 190 |

資料：国勢調査結果
平成12年度、17年度の合併前市町村の世帯数は、
合併後の市町村に合算した。

第2節 圏域の現状

(3) 産業構造

構成市町村の産業別、15歳以上就業者数は下表のとおりです。

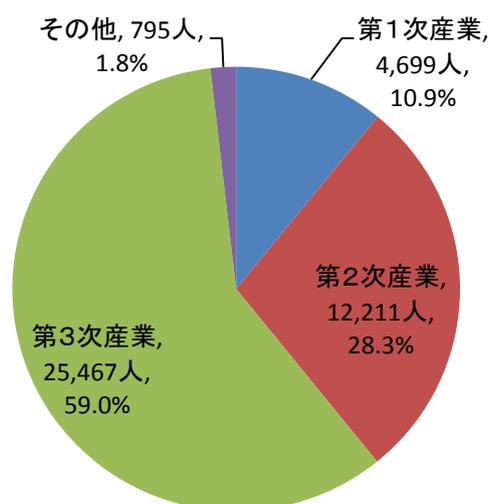
圏域全体の第1次産業に就業する者の割合は全体の10.9%で、県全体の平均が11.8%であるのに対し、約1ポイント低い状況となっています。

また、前回の国勢調査（平成17年）との比較では、第3次産業就業者数の占める割合は、0.9ポイント増加している一方で、第1次、2次産業就業者数は、それぞれ0.3ポイント、1.9ポイント減少しています。

| 市町村 | 総数 | 第1次産業 | 第2次産業 | 第3次産業 | 分類不能 |
|------|--------|-------|--------|--------|------|
| 日向市 | 29,484 | 2,120 | 8,501 | 18,111 | 752 |
| 門川町 | 8,305 | 652 | 2,742 | 4,868 | 43 |
| 美郷町 | 2,921 | 1,025 | 505 | 1,391 | 0 |
| 諸塚村 | 947 | 392 | 150 | 405 | 0 |
| 椎葉村 | 1,515 | 510 | 313 | 692 | 0 |
| 圏域全体 | 43,172 | 4,699 | 12,211 | 25,467 | 795 |

資料：平成22年10月1日国勢調査

■圏域全体でみた産業別就業者数



2 ごみ処理の状況

過去5箇年（平成21年度～25年度）の、構成市町村のごみ排出量^{※1}、焼却量^{※2}、資源化量^{※3}の推移は、次のとおりです。

また、環境省の廃棄物処理システム評価支援ツール^{※4}を用いて、構成市町村の平成21年度と平成24年度（データ基の環境省ごみ処理実態調査は、平成25年度調査結果が未公表のため平成24年度実績を使用）の各評価項目における状況の変化を示しています。

※1：ごみ排出量＝直接焼却量＋資源化等の中間処理量＋直接資源化量＋直接最終処分量

※2：焼却量＝清掃センターにおける直接焼却量（不燃物処理後の可燃残渣を除く。）

※3：資源化量＝直接資源化量＋中間処理後再生利用量

※4：評価項目について、類似都市との比較を行ったレーダーチャート表で示したものを。

数値は、毎年、各自治体から環境省へ報告される「一般廃棄物処理実態調査」に基づいている。

表は、比較のためそれぞれ実績値を偏差値及び指数化して表示しており、数値が大きいほど（平均値の枠を超えるほど）良好な状況を示している。

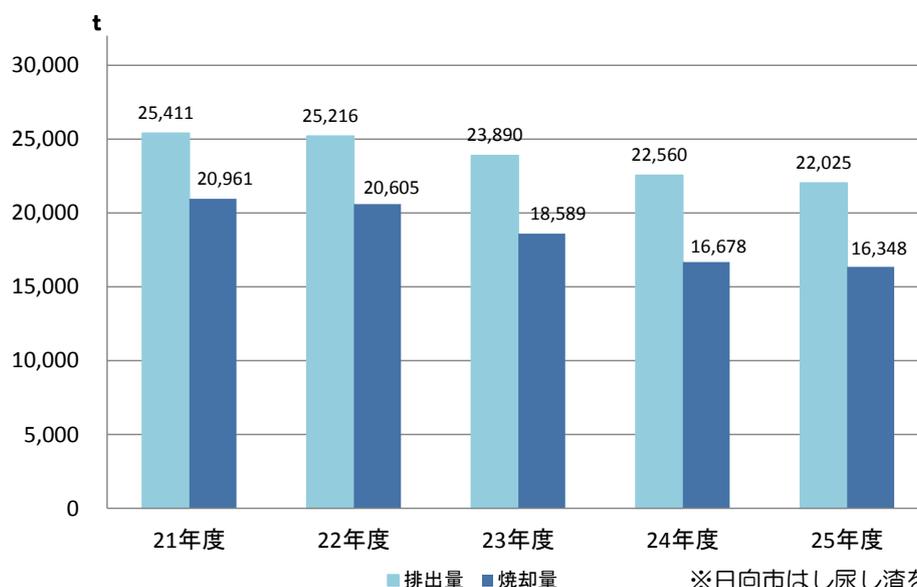
(1) 構成市町村

《日向市》

過去5箇年の日向市における排出量は年々減少しており、対前年比の減少率でみると、平成23年度、24年度はいずれも5%を超える大幅な減少率を示しています。

同時に資源化量（率）も向上しており、平成23年度は、前年度と比較し4ポイント上昇しました。全体的に類似都市とほぼ同様の傾向を示しています。

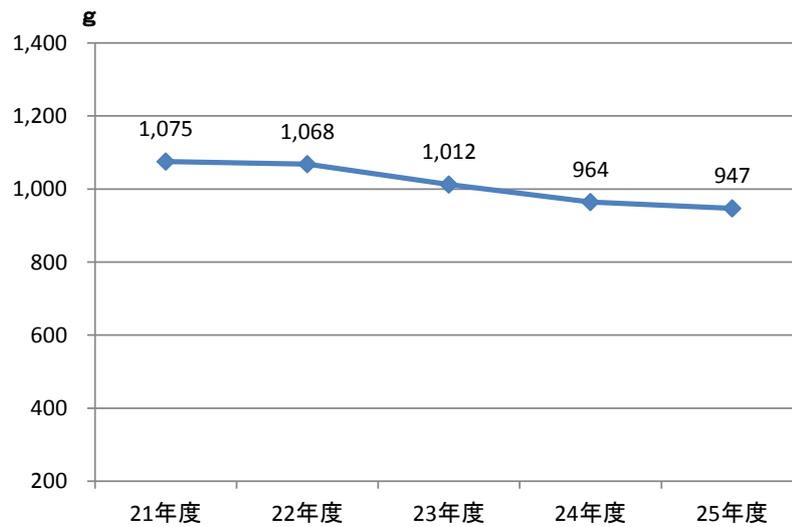
■ 排出量と焼却量の推移



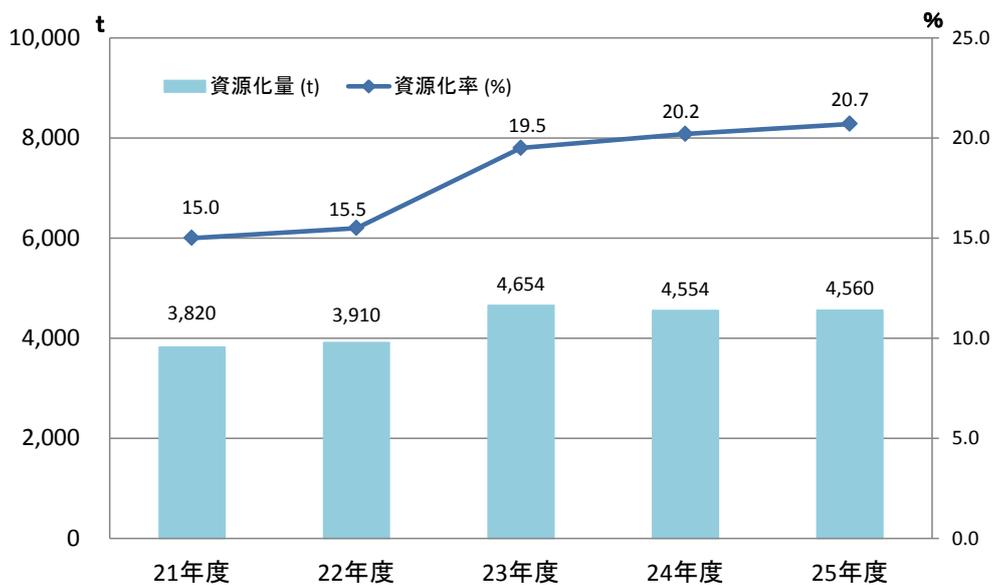
※日向市はし尿し渣を含まない。

第2節 圏域の現状

■ 1人1日当りごみ排出量の推移



■ 資源化量の推移



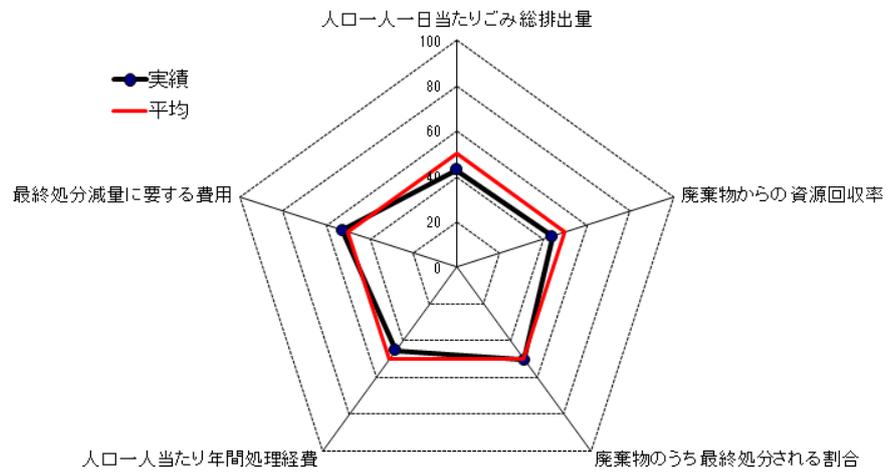
| 年度 区分 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 資源化量 (t) | 3,820 | 3,910 | 4,654 | 4,554 | 4,560 |
| 資源化率 (%) | 15.0 | 15.5 | 19.5 | 20.2 | 20.7 |

※RDF^{※5}・セメント原料化等を除く。

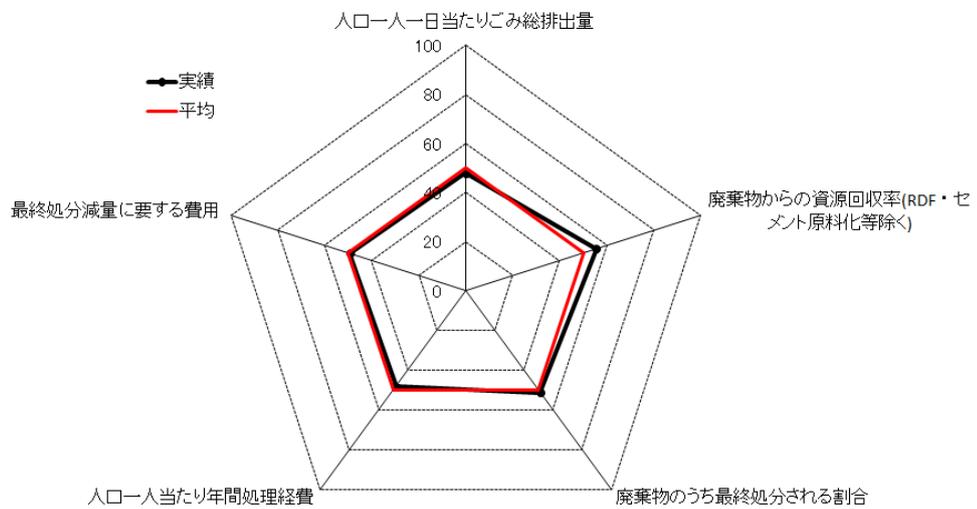
※5：ごみ固化燃料（Refuse Derived Fuel）の略称。生ごみ・廃プラスチック、古紙などの可燃性のごみを粉砕・乾燥したのちに生石灰を混合して、圧縮・固化したもの。

■ 廃棄物処理システム評価支援ツールによる変化の状況

《平成21年度》



《平成24年度》



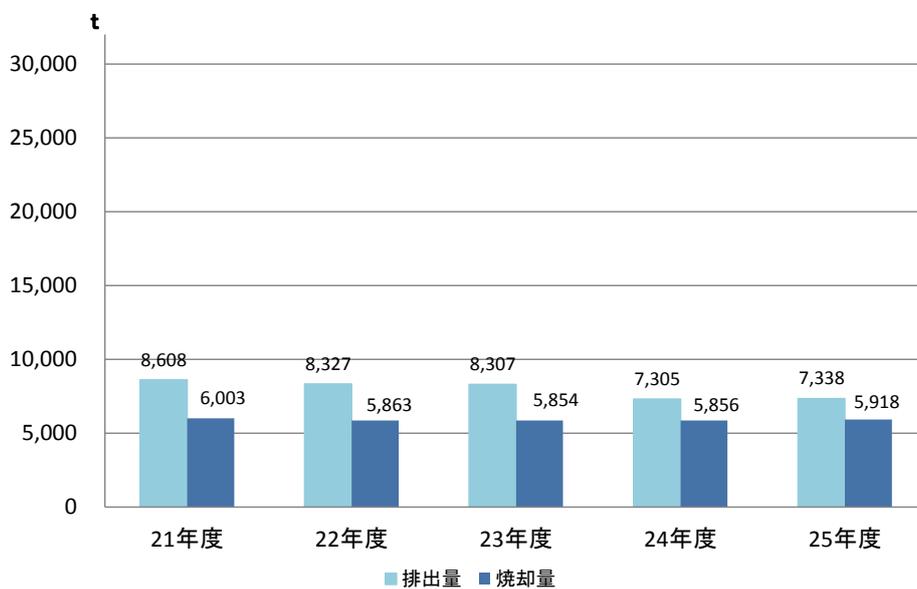
《門川町》

門川町のごみ排出量は、平成21年度以降僅かながら減少傾向にありましたが、平成25年度ではやや増加に転じています。

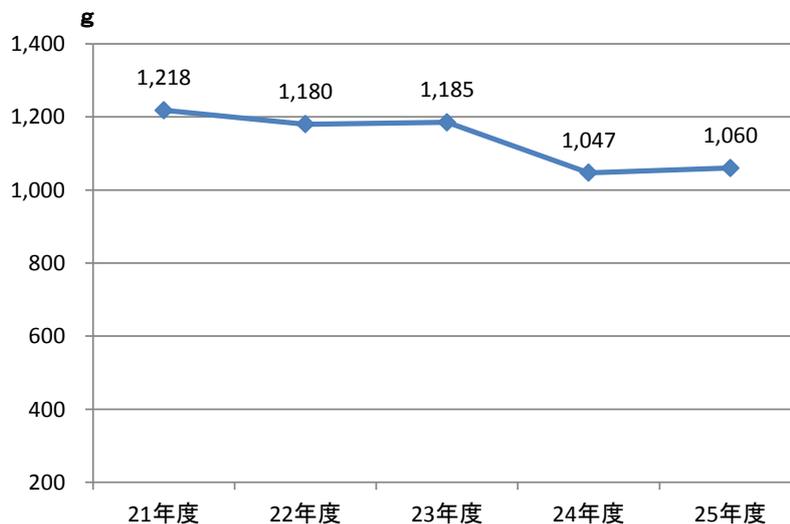
一方資源化量（率）は平成21年度以降徐々に向上し、ごみ排出量が増加した25年度においても前年度比2.2ポイントの伸びを示しています。

ただし、人口1人1日当りの排出量及び資源化率を類似都市の平均と比較した場合、これを大きく下回っている状況です。

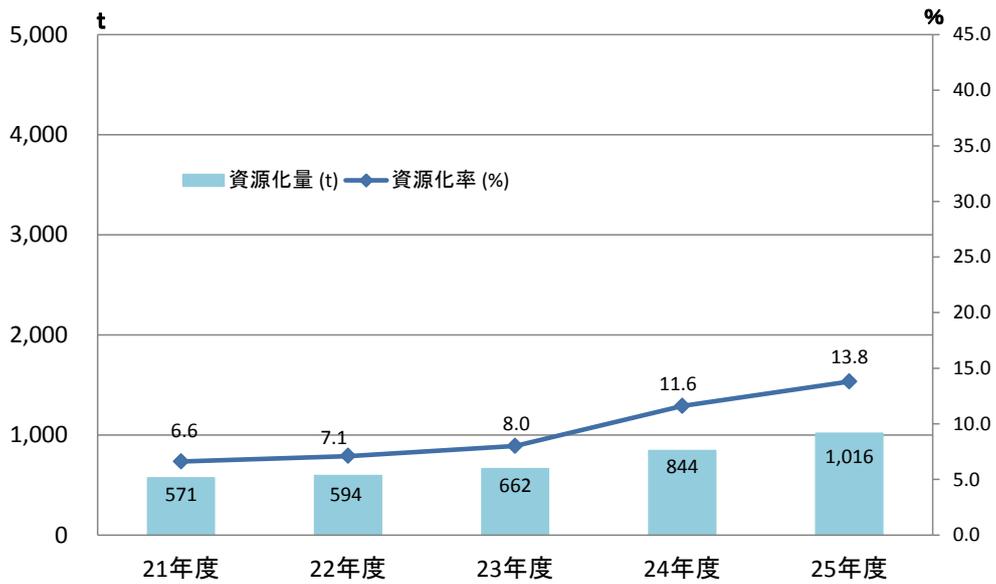
■ 排出量と焼却量の推移



■ 1人1日当りごみ排出量の推移



■資源化量の推移

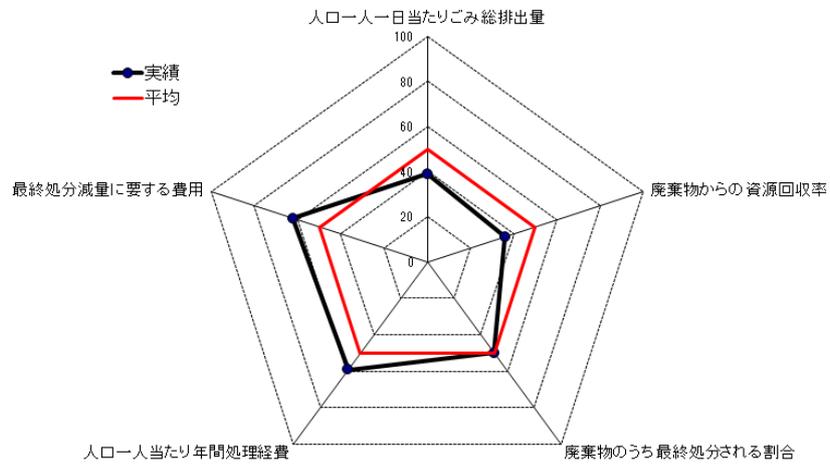


| 年度 区分 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 |
|----------|------|------|------|------|-------|
| 資源化量 (t) | 571 | 594 | 662 | 844 | 1,016 |
| 資源化率 (%) | 6.6 | 7.1 | 8.0 | 11.6 | 13.8 |

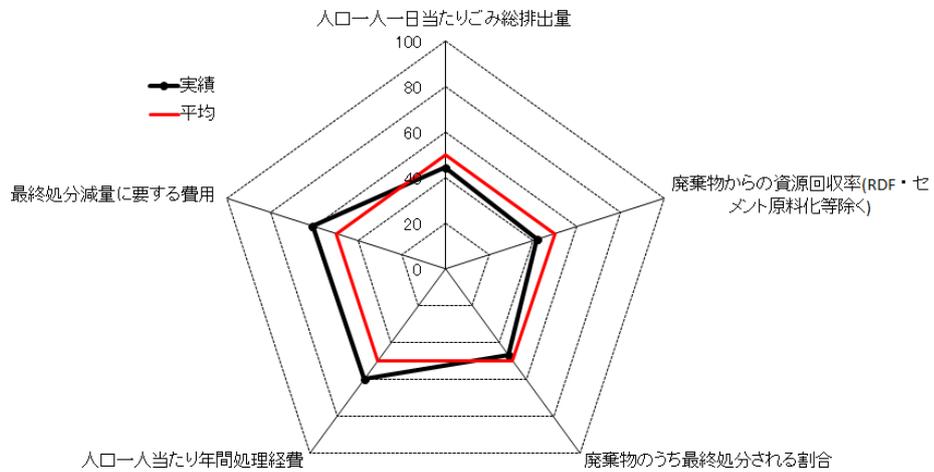
※RDF・セメント原料化等を除く。

■ 廃棄物処理システム評価支援ツールによる変化の状況

《平成21年度》



《平成24年度》



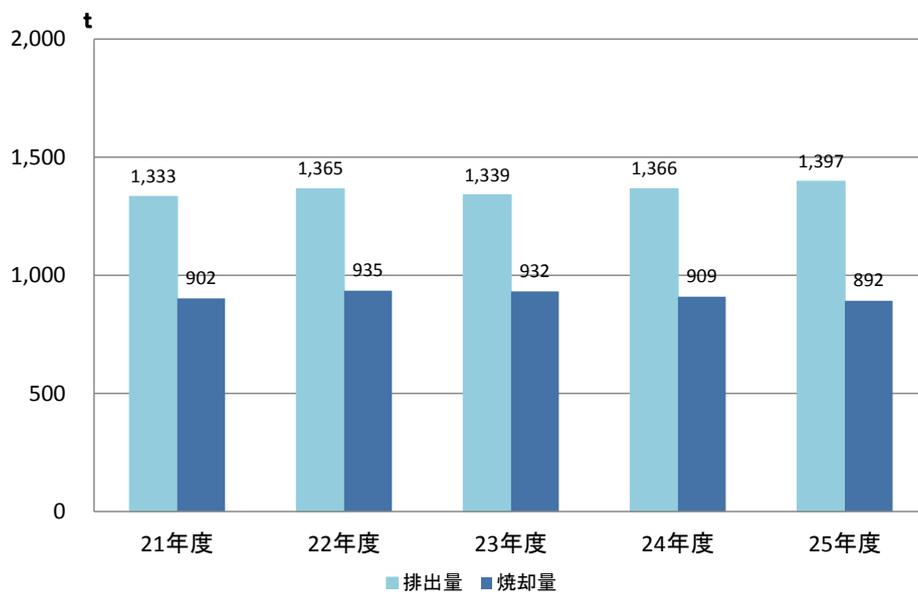
《美郷町》

美郷町のごみ排出量は、計画初年度の平成21年度に前年度比約7%と大きく減少したものの、その後は平成25年度までの各年度、約50トンの幅で増減しており、横ばいの状況と言えます。

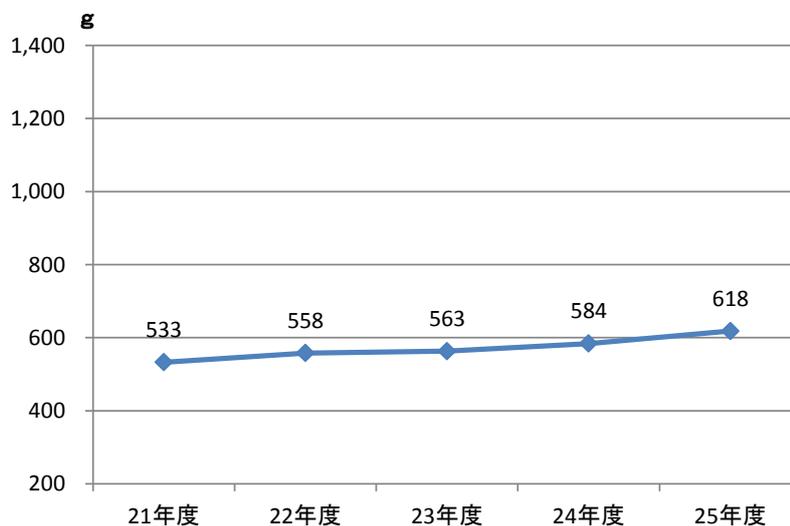
一方、人口1人1日当たりの排出量を類似都市との比較でみると、良好な状況を示しています。

資源化量（率）については、平成24年度まで低下傾向にありましたが、25年度は一転して向上しています。資源化率を類似都市との比較でみると平均的な状況です。

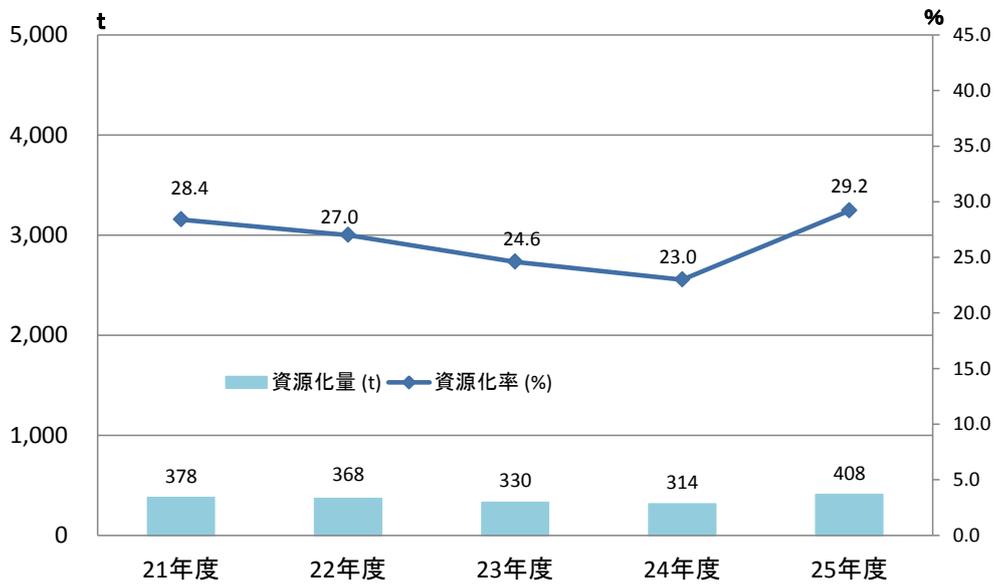
■ 排出量と焼却量の推移



■ 1人1日当りごみ排出量の推移



■資源化量の推移

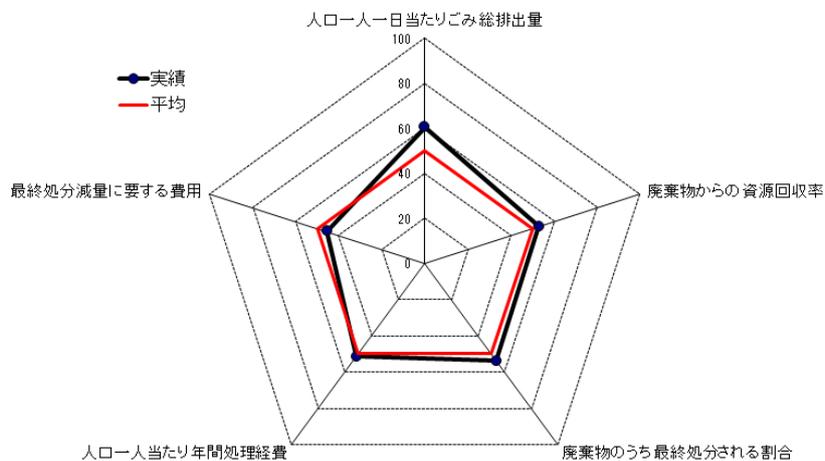


| 年度 区分 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 |
|----------|------|------|------|------|------|
| 資源化量 (t) | 378 | 368 | 330 | 314 | 408 |
| 資源化率 (%) | 28.4 | 27.0 | 24.6 | 23.0 | 29.2 |

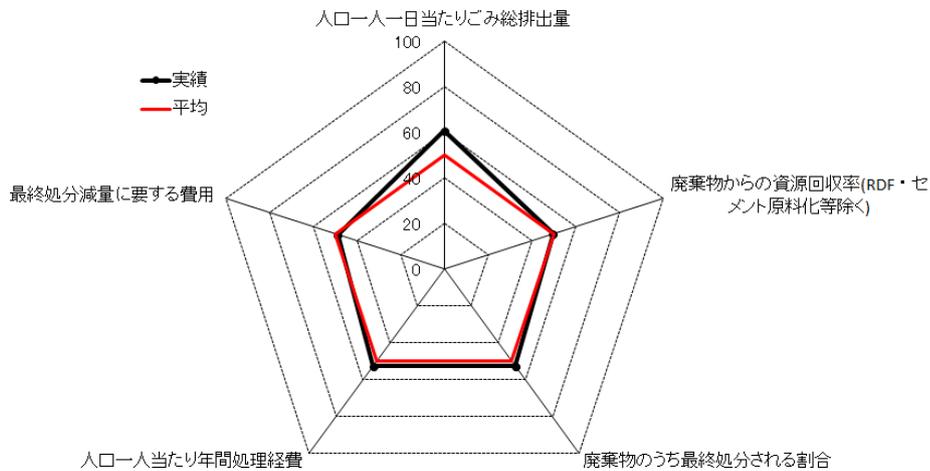
※RDF・セメント原料化等を除く。

■ 廃棄物処理システム評価支援ツールによる変化の状況

《平成21年度》



《平成24年度》

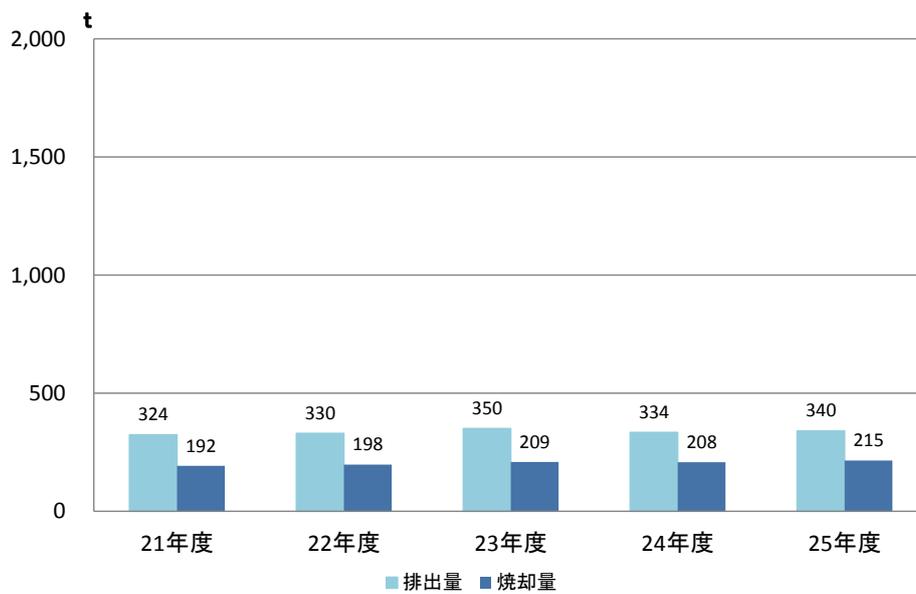


《諸塚村》

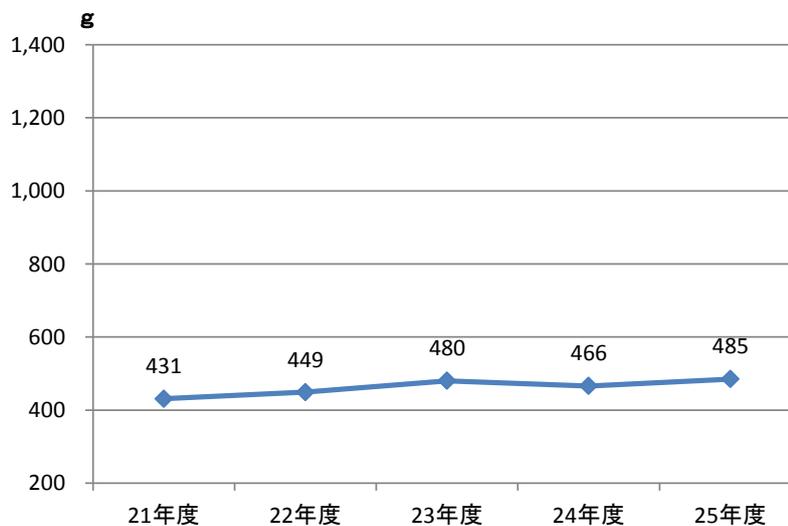
諸塚村では、ごみ排出量、焼却量ともほぼ横ばいで推移しています。

資源化量（率）は、計画初年度の平成21年度以降低下傾向にあるものの、類似都市との比較においては、いずれも平均値を上回り良好な状況を示しています。

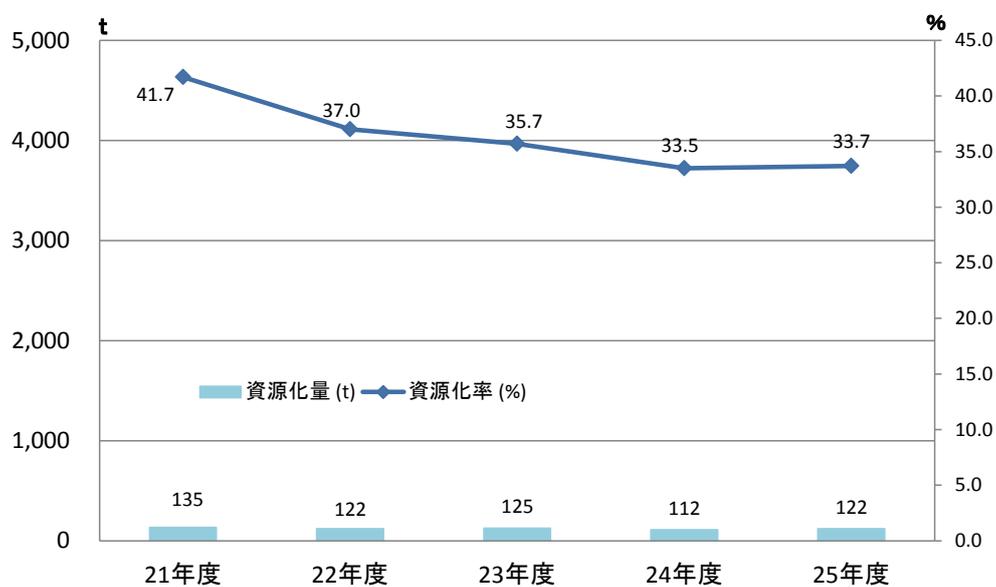
■ 排出量と焼却量の推移



■ 1人1日当りごみ排出量の推移



■資源化量の推移

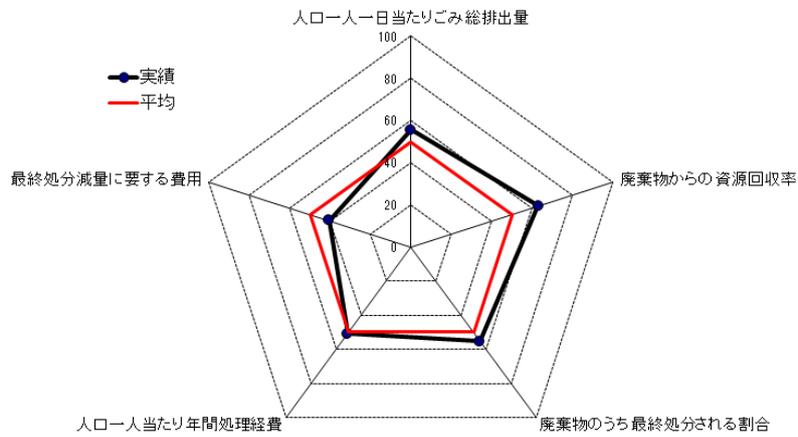


| 年度 区分 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 |
|----------|------|------|------|------|------|
| 資源化量 (t) | 135 | 122 | 125 | 112 | 122 |
| 資源化率 (%) | 41.7 | 37.0 | 35.7 | 33.5 | 33.7 |

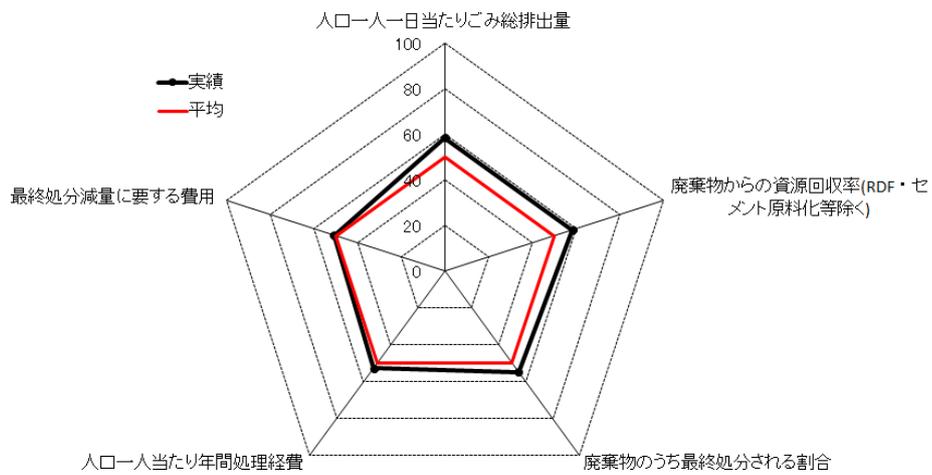
※RDF・セメント原料化等を除く。

■ 廃棄物処理システム評価支援ツールによる変化の状況

《平成21年度》



《平成24年度》

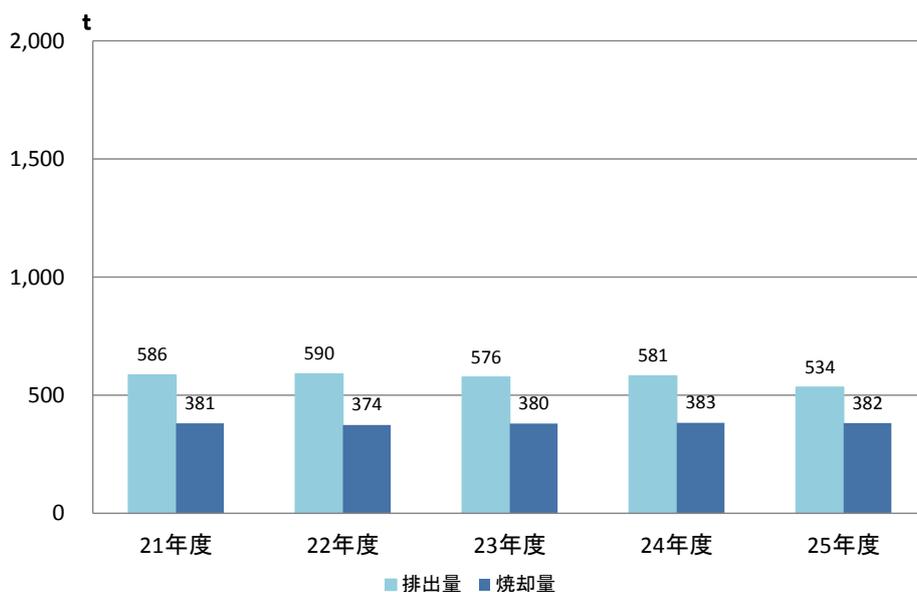


《椎葉村》

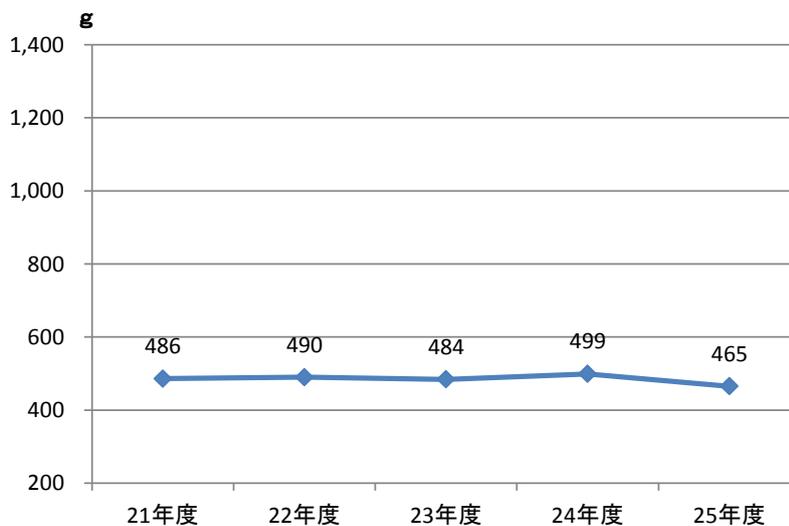
椎葉村のごみ排出量は、平成21年度以降、年度ごとに増減を繰り返しており、資源化量（率）も同様の傾向にあります。

類似都市との比較においては、全体的に平均値を上回る良好な状況です。

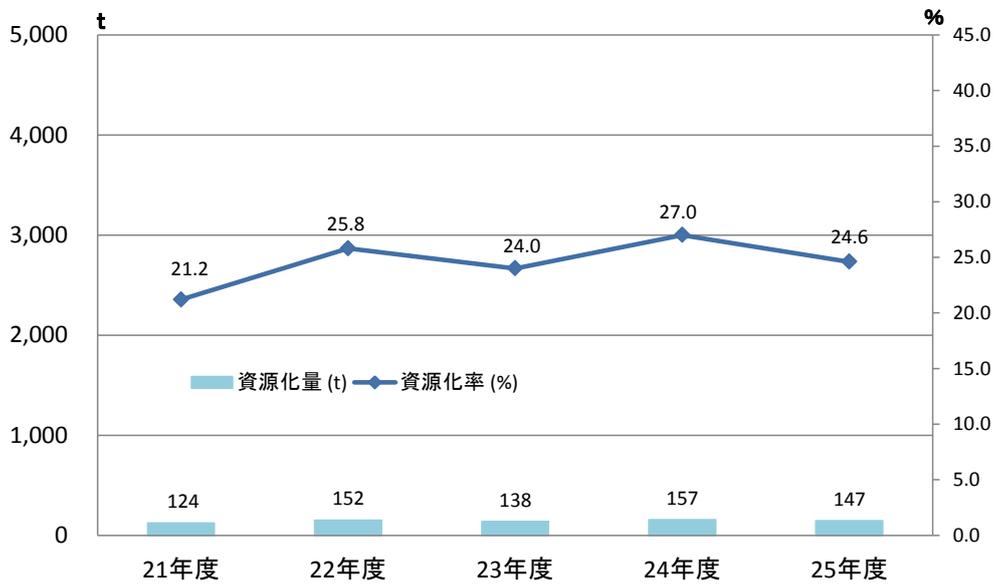
■ 排出量と焼却量の推移



■ 1人1日当りごみ排出量の推移



■資源化量の推移

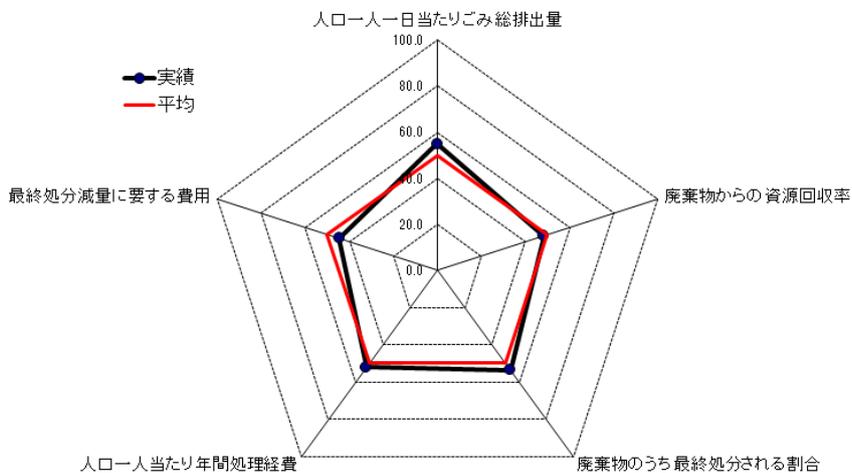


| 年度 区分 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 |
|----------|------|------|------|------|------|
| 資源化量 (t) | 124 | 152 | 138 | 157 | 147 |
| 資源化率 (%) | 21.2 | 25.8 | 24.0 | 27.0 | 24.6 |

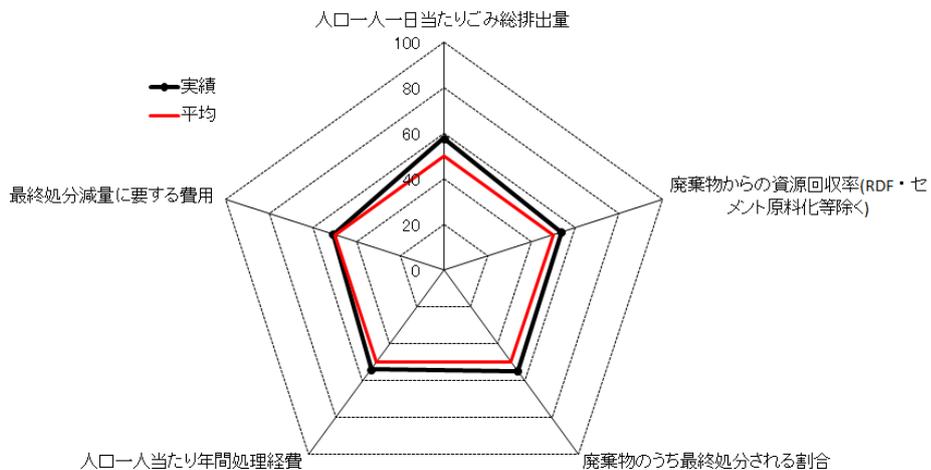
※RDF・セメント原料化等を除く。

■ 廃棄物処理システム評価支援ツールによる変化の状況

《平成21年度》



《平成24年度》



(2) 圏域全体

圏域内のごみ排出量は、当初計画の基準年度である平成19年度以降減少傾向にあり、当該年度の排出量40,094トンと平成25年度の実績を比較すると8,460トン(21.1%)減少しています。

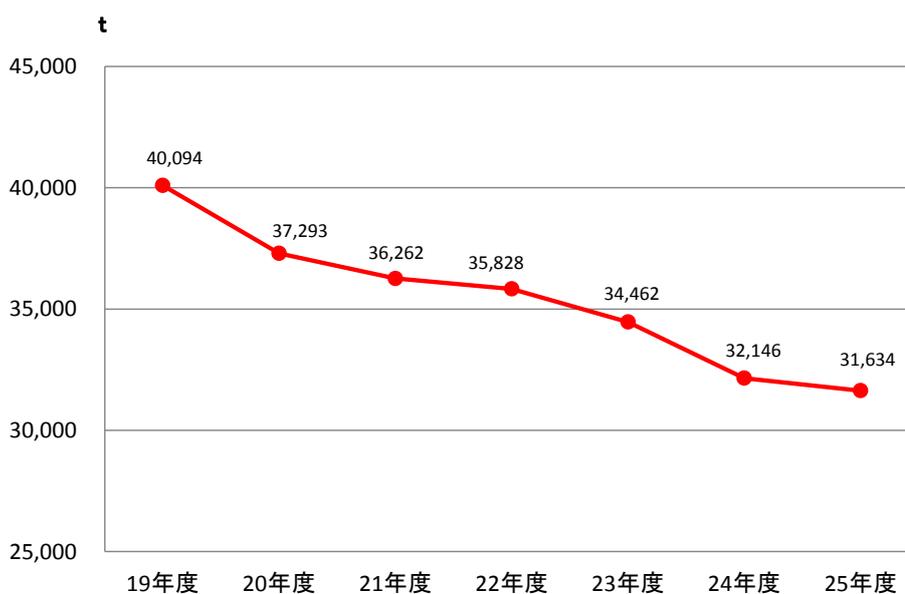
こうした傾向は、主に、圏域内で最も排出量の多い日向市の大幅な減量化、資源化の進展が大きく影響しています。一方、美郷町は、逆に排出量が増加しています。

■構成市町村／ごみ排出量の推移

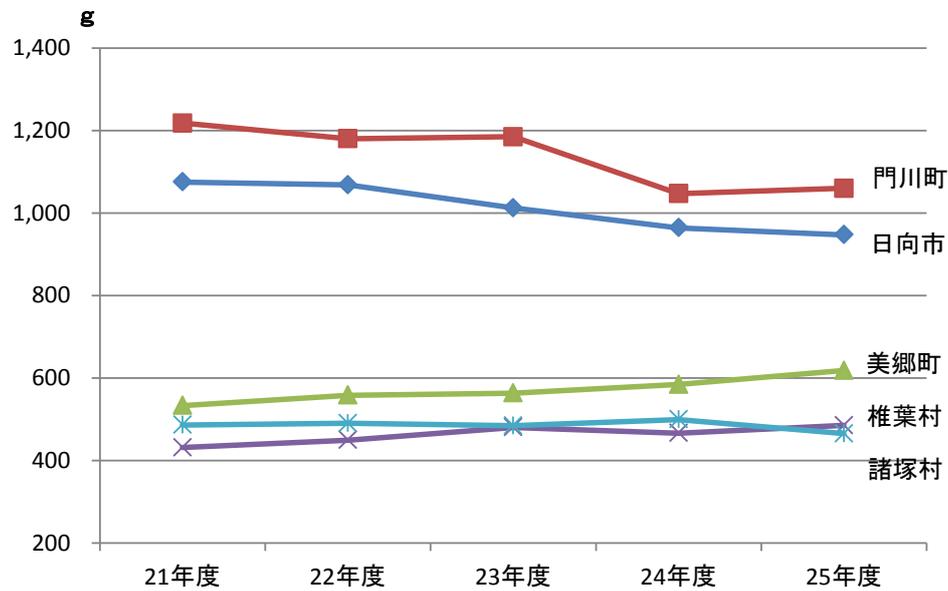
| 年度 区分 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 日向市 | 28,642 | 26,259 | 25,411 | 25,216 | 23,890 | 22,560 | 22,025 |
| 門川町 | 9030 | 8,712 | 8,608 | 8,327 | 8,307 | 7,305 | 7,338 |
| 美郷町 | 1371 | 1,435 | 1,333 | 1,365 | 1,339 | 1,366 | 1,397 |
| 諸塚村 | 410 | 329 | 324 | 330 | 350 | 334 | 340 |
| 椎葉村 | 641 | 558 | 586 | 590 | 576 | 581 | 534 |
| 合計 | 40,094 | 37,293 | 36,262 | 35,828 | 34,462 | 32,146 | 31,634 |

※日向市はし尿し渣を含む。

■圏域内のごみ排出量の推移



■ 1人1日当りごみ排出量の推移



日向市、門川町以外の各町村の人口1人1日当たりの排出量は、日向市、門川町における1人1日当たりの排出量の約2分の1となっています。

もともと廃棄物の発生を伴う生活用品の購入量が少ない、生ごみを家庭で自家処理する、資源の再利用の意識が高いなど、家庭系ごみの排出量が少ないこと、また事業所も規模が小さく、事業活動に伴う一般廃棄物の排出量も限られていることなどがその要因として考えられます。

3 将来値の推計

人口の将来推計、過去5箇年のごみ処理の状況等に基づき、構成市町村及び圏域全体の今後のごみ排出量について推計を行いました。

なお、推計には、今後取り組みが予想される施策・事業による変化は考慮していません。

(1) 人口の将来予測

国立社会保障・人口問題研究所による「日本の市町村別将来推計人口」（平成25年3月）に示された予測数値を用いました。なお、予測結果がない年度については、三時曲線式を用いた線形補完により推計しています。

(2) 計画収集人口の将来予測

構成市町村の過去の自家処理実績が0であるため、総人口の予測値と同値としました。

(3) ごみ排出量原単位の予測手法

過去5箇年の実績数値を基本に経年変化の傾向を抽出し、ごみ排出量等をトレンド法等により予測しました。

傾向線の種類は、①一次回帰 ②指数回帰 ③対数回帰 ④べき乗回帰の4種類とし、近年の実績推移等を考慮して適切な傾向線を選択しました。

(4) 年間ごみ排出量の予測

生活系は、1人1日当りの排出量を予測し、将来予測人口を乗じて年間排出予測量を算出しました。事業系は、年間排出量を予測しました。

※将来推計は、一般財団法人日本環境衛生センター西日本支局の「ごみ処理基本計画改定に係る調査分析業務報告書」に基づく。

(1) 構成市町村

《日向市》

| | 単位 | 実績 | | | | | 将来予測(現在の施策継続) | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|---------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | H33 | H34 | H35 | H36 | H37 | H38 | H39 | H40 | H41 |
| 行政区域内人口 | 人 | 64,756 | 64,686 | 64,501 | 64,125 | 63,702 | 63,764 | 63,483 | 63,183 | 62,864 | 62,528 | 62,175 | 61,807 | 61,424 | 61,026 | 60,616 | 60,193 | 59,758 | 59,313 | 58,858 | 58,394 | 57,922 |
| 計画収集人口 | 人 | 64,756 | 64,686 | 64,501 | 64,125 | 63,702 | 63,764 | 63,483 | 63,183 | 62,864 | 62,528 | 62,175 | 61,807 | 61,424 | 61,026 | 60,616 | 60,193 | 59,758 | 59,313 | 58,858 | 58,394 | 57,922 |
| 自家処理人口 | 人 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 生活系ごみ排出量 | g/人・日 | 699 | 681 | 645 | 664 | 662 | 675 | 675 | 675 | 675 | 675 | 675 | 675 | 675 | 675 | 675 | 675 | 675 | 675 | 675 | 675 | 675 |
| | t/年 | 16,512 | 16,067 | 15,224 | 15,533 | 15,389 | 15,710 | 15,683 | 15,567 | 15,488 | 15,405 | 15,360 | 15,228 | 15,133 | 15,035 | 14,975 | 14,830 | 14,723 | 14,613 | 14,541 | 14,387 | 14,271 |
| 事業系ごみ排出量 | t/年 | 8,899 | 9,149 | 8,666 | 7,027 | 6,636 | 6,636 | 6,636 | 6,636 | 6,636 | 6,636 | 6,636 | 6,636 | 6,636 | 6,636 | 6,636 | 6,636 | 6,636 | 6,636 | 6,636 | 6,636 | 6,636 |
| 排出量合計 | t/年 | 25,411 | 25,216 | 23,890 | 22,560 | 22,025 | 22,346 | 22,319 | 22,203 | 22,124 | 22,041 | 21,996 | 21,864 | 21,769 | 21,671 | 21,611 | 21,466 | 21,359 | 21,249 | 21,177 | 21,023 | 20,907 |

《推計で採用した排出量》

生活系（1日1人当たり排出量）＝実績平均値

事業系（年間排出量）＝最新年度値

《門川町》

| | 単位 | 実績 | | | | | 将来予測(現在の施策継続) | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|---------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | H33 | H34 | H35 | H36 | H37 | H38 | H39 | H40 | H41 |
| 行政区域内人口 | 人 | 19,370 | 19,329 | 19,155 | 19,114 | 18,968 | 18,903 | 18,792 | 18,678 | 18,560 | 18,439 | 18,315 | 18,187 | 18,055 | 17,921 | 17,783 | 17,642 | 17,498 | 17,352 | 17,204 | 17,054 | 16,903 |
| 計画収集人口 | 人 | 19,370 | 19,329 | 19,155 | 19,114 | 18,968 | 18,903 | 18,792 | 18,678 | 18,560 | 18,439 | 18,315 | 18,187 | 18,055 | 17,921 | 17,783 | 17,642 | 17,498 | 17,352 | 17,204 | 17,054 | 16,903 |
| 自家処理人口 | 人 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 生活系ごみ排出量 | g/人・日 | 1018 | 982 | 987 | 850 | 886 | 886 | 886 | 886 | 886 | 886 | 886 | 886 | 886 | 886 | 886 | 886 | 886 | 886 | 886 | 886 | 886 |
| | t/年 | 7,194 | 6,927 | 6,920 | 5,928 | 6,135 | 6,113 | 6,094 | 6,040 | 6,002 | 5,963 | 5,939 | 5,881 | 5,839 | 5,795 | 5,767 | 5,705 | 5,659 | 5,611 | 5,579 | 5,515 | 5,466 |
| 事業系ごみ排出量 | t/年 | 1,414 | 1,400 | 1,387 | 1,377 | 1,203 | 1,203 | 1,203 | 1,203 | 1,203 | 1,203 | 1,203 | 1,203 | 1,203 | 1,203 | 1,203 | 1,203 | 1,203 | 1,203 | 1,203 | 1,203 | 1,203 |
| 排出量合計 | t/年 | 8,608 | 8,327 | 8,307 | 7,305 | 7,338 | 7,316 | 7,297 | 7,243 | 7,205 | 7,166 | 7,142 | 7,084 | 7,042 | 6,998 | 6,970 | 6,908 | 6,862 | 6,814 | 6,782 | 6,718 | 6,669 |

《推計で採用した排出量》

生活系（1日1人当たり排出量）＝最新年度値

事業系（年間排出量）＝最新年度値

《美郷町》

| | 単位 | 実績 | | | | | 将来予測(現在の施策継続) | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | H33 | H34 | H35 | H36 | H37 | H38 | H39 | H40 | H41 |
| 行政区域内人口 | 人 | 6,850 | 6,708 | 6,497 | 6,413 | 6,197 | 6,177 | 6,045 | 5,915 | 5,786 | 5,658 | 5,533 | 5,410 | 5,289 | 5,170 | 5,054 | 4,940 | 4,828 | 4,719 | 4,612 | 4,507 | 4,406 |
| 計画収集人口 | 人 | 6,850 | 6,708 | 6,497 | 6,413 | 6,197 | 6,177 | 6,045 | 5,915 | 5,786 | 5,658 | 5,533 | 5,410 | 5,289 | 5,170 | 5,054 | 4,940 | 4,828 | 4,719 | 4,612 | 4,507 | 4,406 |
| 自家処理人口 | 人 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 生活系ごみ排出量 | g/人・日 | 533 | 558 | 563 | 584 | 618 | 627 | 644 | 660 | 676 | 691 | 706 | 720 | 734 | 747 | 760 | 773 | 785 | 797 | 809 | 820 | 831 |
| | t/年 | 1,333 | 1,365 | 1,339 | 1,366 | 1,397 | 1,414 | 1,425 | 1,425 | 1,428 | 1,427 | 1,430 | 1,422 | 1,417 | 1,410 | 1,406 | 1,394 | 1,383 | 1,373 | 1,366 | 1,349 | 1,336 |
| 事業系ごみ排出量 | t/年 | 0 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| 排出量合計 | t/年 | 1,333 | 1,365 | 1,339 | 1,366 | 1,397 | 1,414 | 1,425 | 1,425 | 1,428 | 1,427 | 1,430 | 1,422 | 1,417 | 1,410 | 1,406 | 1,394 | 1,383 | 1,373 | 1,366 | 1,349 | 1,336 |

《推計で採用した排出量》

生活系（1日1人当たり排出量）＝対数回帰値

《諸塚村》

| | 単位 | 実績 | | | | | 将来予測(現在の施策継続) | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | H33 | H34 | H35 | H36 | H37 | H38 | H39 | H40 | H41 |
| 行政区域内人口 | 人 | 2,061 | 2,013 | 1,991 | 1,964 | 1,921 | 1,875 | 1,833 | 1,791 | 1,749 | 1,707 | 1,667 | 1,628 | 1,590 | 1,554 | 1,518 | 1,484 | 1,450 | 1,417 | 1,384 | 1,352 | 1,320 |
| 計画収集人口 | 人 | 2,061 | 2,013 | 1,991 | 1,964 | 1,921 | 1,875 | 1,833 | 1,791 | 1,749 | 1,707 | 1,667 | 1,628 | 1,590 | 1,554 | 1,518 | 1,484 | 1,450 | 1,417 | 1,384 | 1,352 | 1,320 |
| 自家処理人口 | 人 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 生活系ごみ排出量 | g/人・日 | 431 | 449 | 480 | 466 | 485 | 498 | 509 | 520 | 530 | 540 | 549 | 558 | 567 | 576 | 584 | 592 | 600 | 608 | 615 | 623 | 630 |
| | t/年 | 324 | 330 | 350 | 334 | 340 | 341 | 341 | 340 | 338 | 336 | 335 | 332 | 329 | 327 | 324 | 321 | 318 | 314 | 312 | 307 | 304 |
| 事業系ごみ排出量 | t/年 | 0 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| 排出量合計 | t/年 | 324 | 330 | 350 | 334 | 340 | 341 | 341 | 340 | 338 | 336 | 335 | 332 | 329 | 327 | 324 | 321 | 318 | 314 | 312 | 307 | 304 |

《推計で採用した排出量》

生活系（1日1人当たり排出量）＝対数回帰値

《椎葉村》

| | 単位 | 実績 | | | | | 将来予測(現在の施策継続) | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | H33 | H34 | H35 | H36 | H37 | H38 | H39 | H40 | H41 |
| 行政区域内人口 | 人 | 3,304 | 3,302 | 3,254 | 3,191 | 3,147 | 3,064 | 3,003 | 2,941 | 2,878 | 2,814 | 2,751 | 2,687 | 2,624 | 2,562 | 2,501 | 2,441 | 2,384 | 2,329 | 2,275 | 2,225 | 2,176 |
| 計画収集人口 | 人 | 3,304 | 3,302 | 3,254 | 3,191 | 3,147 | 3,064 | 3,003 | 2,941 | 2,878 | 2,814 | 2,751 | 2,687 | 2,624 | 2,562 | 2,501 | 2,441 | 2,384 | 2,329 | 2,275 | 2,225 | 2,176 |
| 自家処理人口 | 人 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 生活系ごみ排出量 | g/人・日 | 486 | 490 | 484 | 499 | 465 | 485 | 485 | 485 | 485 | 485 | 485 | 485 | 485 | 485 | 485 | 485 | 485 | 485 | 485 | 485 | 485 |
| | t/年 | 586 | 590 | 576 | 581 | 534 | 542 | 533 | 521 | 509 | 498 | 488 | 476 | 465 | 454 | 444 | 432 | 422 | 412 | 404 | 394 | 385 |
| 事業系ごみ排出量 | t/年 | 0 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| 排出量合計 | t/年 | 586 | 590 | 576 | 581 | 534 | 542 | 533 | 521 | 509 | 498 | 488 | 476 | 465 | 454 | 444 | 432 | 422 | 412 | 404 | 394 | 385 |

《推計で採用した排出量》

生活系（1日1人当り排出量）＝実績平均値

(2) 圏域全体

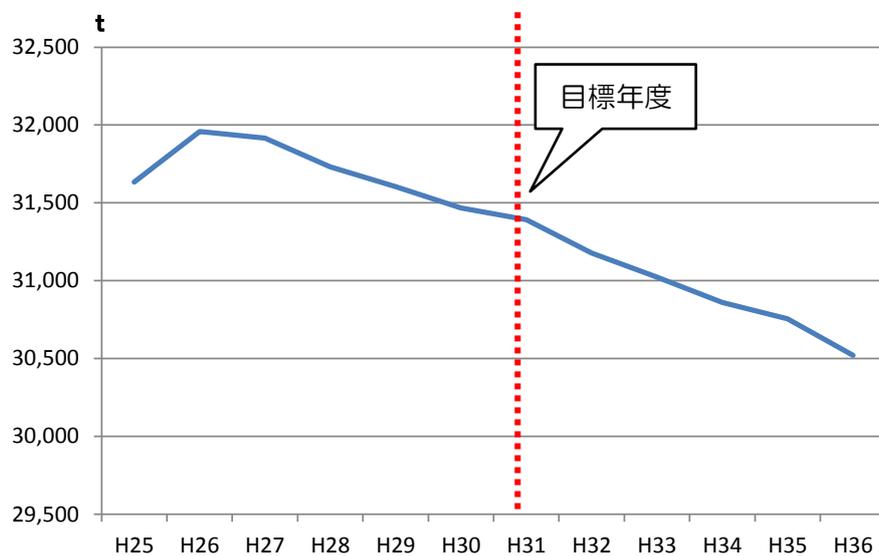
構成市町村の推計値を基にした圏域全体（広域連合）の将来推計は、下の表のとおりです。

推計では、目標年度である平成31年度末における排出量は31,391トンとなっており、今回見直しの基準年度である平成25年度と比較し0.8%減少すると予測しています。

| | 単位 | 実績 | | | | | 将来予測(現在の施策継続) | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|---------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | H33 | H34 | H35 | H36 | H37 | H38 | H39 | H40 | H41 |
| 行政区域内人口 | 人 | 96,341 | 96,038 | 95,398 | 94,807 | 93,935 | 93,783 | 93,156 | 92,508 | 91,837 | 91,146 | 90,441 | 89,719 | 88,982 | 88,233 | 87,472 | 86,700 | 85,918 | 85,130 | 84,333 | 83,532 | 82,727 |
| 計画収集人口 | 人 | 96,341 | 96,038 | 95,398 | 94,807 | 93,935 | 93,783 | 93,156 | 92,508 | 91,837 | 91,146 | 90,441 | 89,719 | 88,982 | 88,233 | 87,472 | 86,700 | 85,918 | 85,130 | 84,333 | 83,532 | 82,727 |
| 自家処理人口 | 人 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 生活系ごみ排出量 | g/人・日 | 737.9 | 721.1 | 699.1 | 686.1 | 694.0 | 704.6 | 706.1 | 707.6 | 709.0 | 710.3 | 711.5 | 712.7 | 713.8 | 714.8 | 715.8 | 716.8 | 717.6 | 718.4 | 719.3 | 720.0 | 720.7 |
| | t/年 | 25,949 | 25,279 | 24,409 | 23,742 | 23,795 | 24,120 | 24,076 | 23,893 | 23,765 | 23,629 | 23,552 | 23,339 | 23,183 | 23,021 | 22,916 | 22,682 | 22,505 | 22,323 | 22,202 | 21,952 | 21,762 |
| 事業系ごみ排出量 | t/年 | 10,313 | 10,549 | 10,053 | 8,404 | 7,839 | 7,839 | 7,839 | 7,839 | 7,839 | 7,839 | 7,839 | 7,839 | 7,839 | 7,839 | 7,839 | 7,839 | 7,839 | 7,839 | 7,839 | 7,839 | 7,839 |
| 排出量合計 | t/年 | 36,262 | 35,828 | 34,462 | 32,146 | 31,634 | 31,959 | 31,915 | 31,732 | 31,604 | 31,468 | 31,391 | 31,178 | 31,022 | 30,860 | 30,755 | 30,521 | 30,344 | 30,162 | 30,041 | 29,791 | 29,601 |

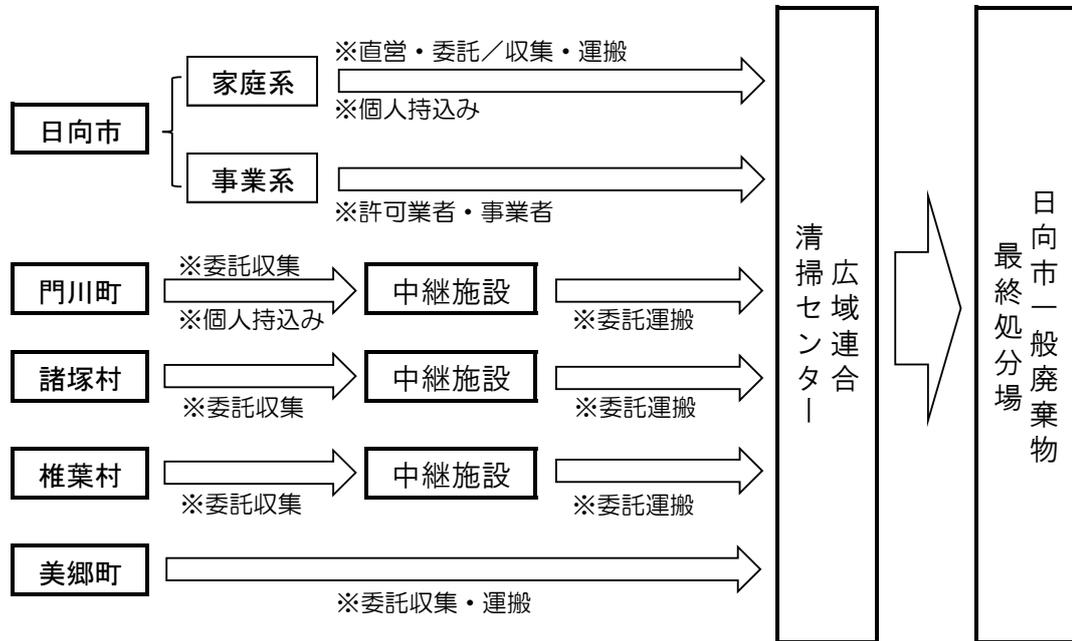
第2節 圏域の現状

■平成26年度以降の圏域内排出量推計値



4 広域処理体制

《可燃系廃棄物の処理》



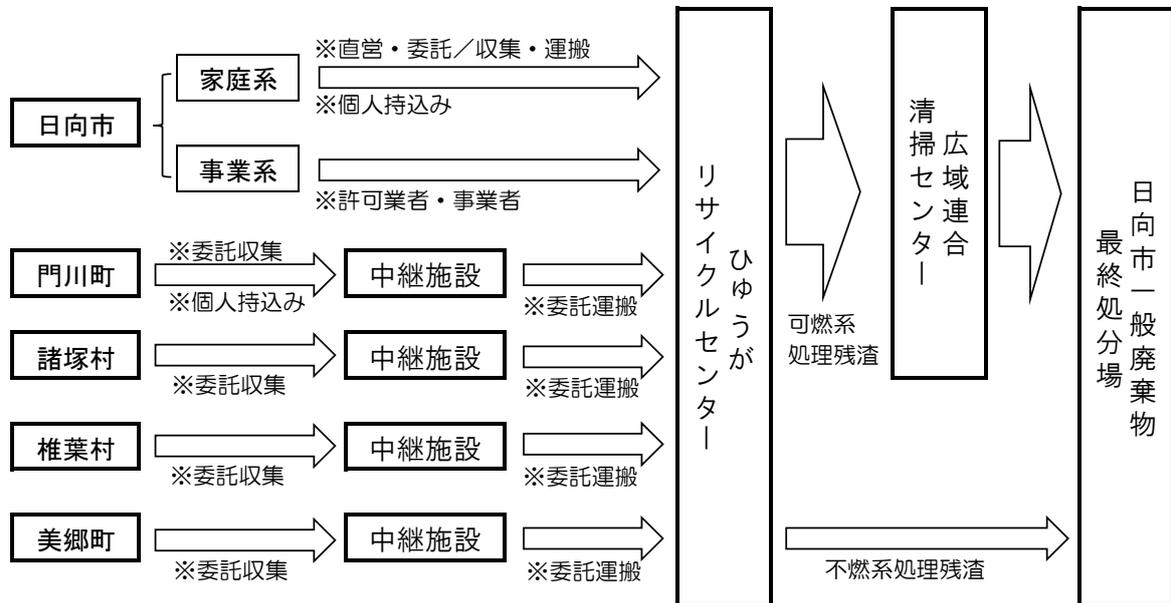
日向市では、家庭から排出される可燃系のごみについては、市直営または市の委託車両により収集・運搬され、清掃センターに搬入されるか、もしくは個人による清掃センターへの直接持込みにより処理されています。

また事業系の一般廃棄物については、事業者が委託した許可業者、もしくは事業者により直接持ち込まれ、処理されています。

一方、門川町、諸塚村、椎葉村では、町村の委託車両により収集された可燃系ごみは、各町村内の中継施設に一旦集積されたのち、積み替えられて清掃センターに搬入されています。また、美郷町においては、町の委託車両が収集したのち、直接清掃センターに搬入しています。

清掃センターにおいて焼却処理された後の残渣（焼却灰）は、日向市の一般廃棄物最終処分場で埋め立て処理され、広域連合は、重量に応じた処理費を負担金として日向市に支払っています。

《不燃系廃棄物の処理》



不燃系の廃棄物は、日向市においては市直営または委託車両、個人による持込み、さらに事業系では許可業者、事業者自身による持ち込みによりひょうがリサイクルセンターに搬入され、他の町村においては、一旦、中継施設、保管所に保管されたのち、町村の委託車両により搬入されています。

搬入された廃棄物は、ひょうがリサイクルセンターで破碎処理後、再生利用されるものとそれ以外の可燃系及び不燃系残渣に選別され、可燃系残渣は、清掃センターにおいて焼却、不燃系残渣は、日向市一般廃棄物最終処分場で埋め立て処理されています。

第3節 施策・事業の取り組み

平成21年度以降、構成市町村及び広域連合において取り組まれたごみ処理関係施策及び事業は次のとおりです。

1 構成市町村

| | 事業内容 | 年度 |
|-----|---|--------|
| 日向市 | <p>■プラスチック製容器包装分別</p> <p>*平成20年度から2地区において試験的に分別収集を開始し、完全実施に必要なデータを収集した。</p> <p>*住民への周知啓発を行い、平成23年3月から完全実施した。</p> | 平成21年度 |
| | <p>■資源物回収の充実</p> <p>プラスチック製容器包装の分別収集開始、資源物回収対象（古布、ペットボトル）の拡大と同時に資源物の回収回数を、月1回から2回に拡充した。</p> | 平成22年度 |
| | <p>■資源物回収の拡充</p> <p>*蛍光灯回収を圏域内民間中間処理施設において開始した。</p> <p>*使用済小型家電回収を圏域内民間中間処理施設において開始した。</p> <p>■事業系受入基準の見直し</p> <p>事業系一般廃棄物受け入れ基準の見直しの試行を開始した。</p> | 平成23年度 |
| | <p>■資源物回収の充実</p> <p>*資源物回収品目を追加した。 (スプレー缶・カセットボンベ)</p> <p>*草木類の一部固形燃料化を圏域内民間中間処理施設において開始した。</p> <p>■事業系受入基準の見直し</p> <p>事業系一般廃棄物受入基準見直しを完全実施した。</p> <p>■生ごみ処理対策の拡充</p> <p>生ごみの減量化策として生ごみカラットモニター募集を開始した。</p> | 平成24年度 |

第3節 施策・事業の取り組み

| | 事業内容 | 年度 |
|-----|--|-----------------|
| | <p>■日向市一般廃棄物最終処分場共同利用開始</p> <p>これまで民間の処分場において処理されていた門川町美郷町、諸塚村、椎葉村から排出される不燃系廃棄物の中間処理後の残渣を、平成25年4月から日向市一般廃棄物最終処分場において受け入れを開始した。</p> | 平成25年度 |
| 門川町 | <p>■木質系粗大ごみの資源化</p> <p>木質系粗大ごみの資源化（固形燃料化）を圏域内民間中間処理施設において開始した。</p> | 平成21年度 |
| | <p>■プラスチック製容器包装の分別化</p> <p>*平成25年度9月から2地区において試験的に分別収集を開始し、完全実施に向け必要なデータの収集及び関係者への周知啓発を行った。</p> <p>*町内全地区において説明会等を開催した。</p> | 平成25年度 |
| | <p>■プラスチック製容器包装の分別化</p> <p>平成26年4月から全町で完全実施した。</p> | 平成26年度 |
| 美郷町 | <p>■古紙類分別収集</p> <p>可燃ごみとして収集していた古紙類を資源物として回収を始めた。</p> | 平成23年度 |
| | <p>■プラスチック製容器包装の分別化</p> <p>平成26年10月から、一部の地区で試験的に分別収集を実施した。</p> | 平成26年度 |
| 諸塚村 | <p>■ごみダイエットコンテスト</p> <p>ごみ減量化を推進するため、前年度と比較して減量化率が大きかった自治区を表彰した。</p> | 平成19年度 ～21年度 |
| | <p>■ごみボックス状況調査、修繕・交換</p> <p>村内に設置しているごみボックスについて、老朽化や故障等の調査を実施。対応が必要と判断されたボックス約20基について修繕、交換した。</p> | 平成22年度 |
| 椎葉村 | <p>■プラスチック製容器包装の分別化</p> <p>平成26年10月から、一部の地区で試験的に分別収集を実施した。</p> | 平成26年度 |

2 広域連合

(1) 清掃センター基幹的設備改良事業

焼却施設の供用開始から約20年が経過し、経年劣化の著しかった清掃センターの基幹的設備の改修・更新工事を、国の循環型社会形成推進交付金を活用して平成22年度から26年度までの5箇年、工期を3期に分けて実施しました。

(2) 共同調査研究事業

ごみの減量化、資源化及び効率的なごみ処理の推進を目的として、平成24年度、一般財団法人「地方自治研究機構」との共同調査研究事業により、広域的なバイオマス資源の有効利活用及び広域処理体制の統一化の可能性について調査研究を行い、圏域内における生ごみ等の資源化の有効性、並びに処理体制の統一化の必要性が、調査研究結果として示されました。

(3) ごみ処理体制広域化推進事業

平成24年度に一般財団法人「地方自治研究機構」と共同で行った「バイオマス資源有効利活用とごみ減量化に向けたごみ収集方法に関する調査研究事業」の結果を受け、引き続き平成25、26年度に「ごみ処理広域化推進協議会」を設置してごみ処理の広域化について検討を行い、方向性を次のとおり決めました。

■生ごみ等の資源化

広域連合として広域的に取り組むことの必要性、有効性に乏しく、実施については、生ごみを大量排出する日向市、門川町が主体となって検討するのが適当である。

■分別品目の統一

日向市の内容に統一することで構成市町村の合意形成が図られた。

当面、プラスチック製容器包装の分別収集の統一実施を目標とし、開始時期については、同一年度となるよう町村間で調整する。

■処理体制の統一化

効率的な事務処理を推進するうえで、可能な事務については体制を統一化する。

(4) 日向市一般廃棄物最終処分場の共同利用

門川町、美郷町、諸塚村、椎葉村から排出される不燃系一般廃棄物の中間処理後の残渣を、日向市一般廃棄物最終処分場において埋め立て処理することができるよう日向市及び最終処分場周辺3区との間で協議、調整を行い、平成25年4月から埋め立て処理を開始しました。

平成25年度以降、2町2村の共同利用に関わる事務処理については、広域連合で一元化して行っています。

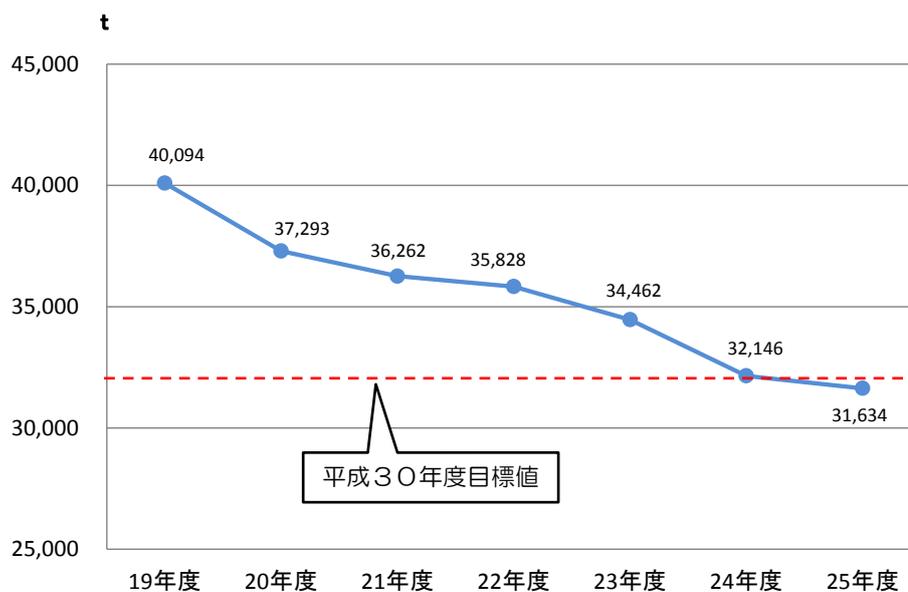
第4節 検証・評価

第2節「圏域の現状」及び第3節「施策・事業の取り組み」で示した構成市町村及び広域連合の状況を踏まえながら、当初計画において設定した目標に対する達成度、過去5箇年（平成21年度～25年度）の広域連合におけるごみ処理に関する取り組み等を検証・評価します。

1 排出量の現状

平成21年度以降、各構成市町村の積極的な減量化の取り組みにより、ごみ排出量の減量化が大幅に進み、当初計画で目標とした平成30年度までに排出量を20%減量（平成19年度基準）することが、平成25年度末において達成（21.1%減）されました。

■圏域内のごみ排出量の推移



※平成30年度目標値：平成19年度を基準とし、排出量を20%減量（達成時の排出量＝32,075 t）

2 焼却量の現状

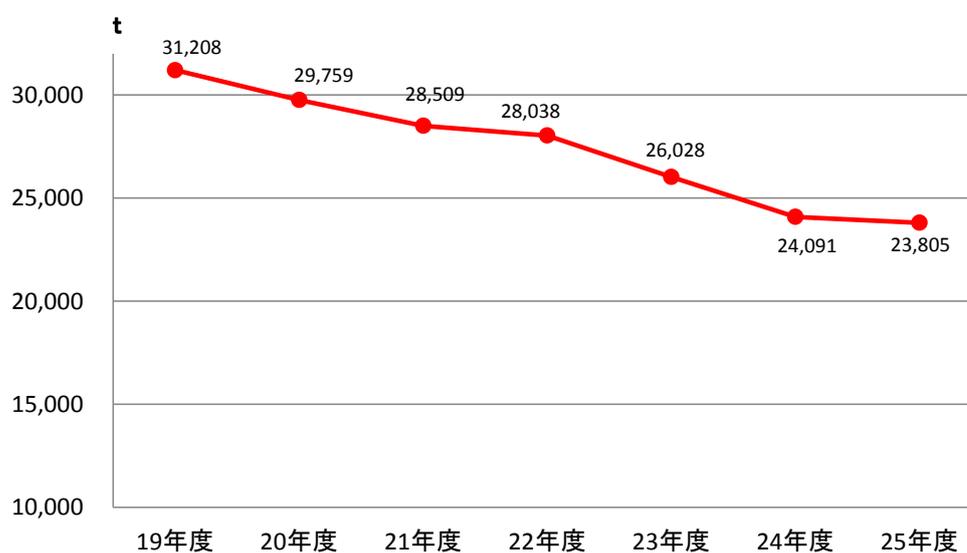
構成市町村から清掃センターに搬入され、焼却処理されたごみ量の推移は次のとおりです。

排出量の減少傾向にともない、焼却量も減少しています。平成25年度の対19年度比でみた減少率は、23.7%となっています。

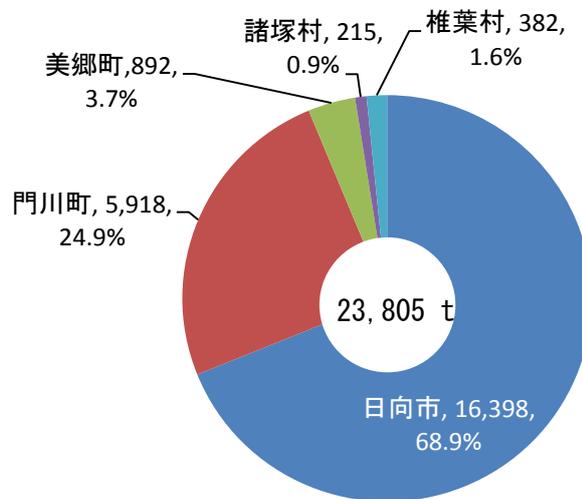
| | | トン | | | | | |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 年度 区分 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 |
| 日向市 | 23,130 | 22,361 | 21,031 | 20,668 | 18,653 | 16,735 | 16,398 |
| 門川町 | 6,616 | 6,006 | 6,003 | 5,863 | 5,854 | 5,856 | 5,918 |
| 美郷町 | 810 | 824 | 902 | 935 | 932 | 909 | 892 |
| 諸塚村 | 259 | 197 | 192 | 198 | 209 | 208 | 215 |
| 椎葉村 | 393 | 371 | 381 | 374 | 380 | 383 | 382 |
| 合 計 | 31,208 | 29,759 | 28,509 | 28,038 | 26,028 | 24,091 | 23,805 |

※日向市のし尿し渣を含む。

■清掃センター焼却量の推移



■焼却量の構成市町村比率（平成25年度）



3 目標達成状況と評価

当初計画で設定した目標と、平成25年度実績との比較は次のとおりです。

■当初計画のごみ減量化の達成目標

平成21年度から平成30年度までの10年間で構成市町村のごみ排出量の20%減量を目指して取り組む。（平成19年度を基準）

※平成19年度排出量：40,094 t



■目標値の達成状況

平成25年度実績において、平成19年度比21.1%（8,460トン）減量し目標とした平成30年度までに20%減量を5箇年で達成しました。

※平成25年度排出量：31,634 t

《評価》

当初計画で目標とした「平成21年度から平成30年度までの10年間で構成市町村のごみ排出量の20%減量」を平成25年度末で達成しており、各構成市町村において、排出量削減に向けた積極的かつ効果的な取り組みが行われたことを示しています。

目標達成の主な要因としては、清掃センター総搬入量の約7割を占める日向市において取り組まれた、次の2つの施策が大きく影響しています。

■資源物回収品目の拡大

古布、ペットボトル等、資源物対象品目の拡大、また平成23年3月から日向市全域で始まったプラスチック製容器包装の分別収集により、平成23年度においては、1人1日当りの排出量が前年度比86g減少し、焼却量が2,015トン減少するなど、その後も減少傾向が続いています。

■事業系廃棄物の適正処理の取り組み

産業廃棄物と一般廃棄物との区分が明確ではなかった事業活動に伴って排出される事業系廃棄物の清掃センター受け入れに関し、平成24年6月から適正な基準に基づく受け入れを始めたことにより、搬入量が減少しました。

同様に、他の構成町村においてもごみ減量化や資源化に向けたさまざまな取り組みがなされ、ごみ処理に対する住民の関心、減量化・資源化の意識が徐々に浸透したこと、また東日本大震災後の全国的な環境、エネルギー問題に対する意識の高まり等が排出量の減少、資源化の向上に影響したものと思われます。

また間接的には、平成19年4月から稼働を開始した日向市内の不燃系民間中間処理施設の処理体制が安定したことで、構成市町村から排出される廃棄物への柔軟な処理対応が可能となったことが要因のひとつと考えられます。

4 広域連合の課題

過去5箇年の取り組みを検証・評価し、圏域内（広域連合）の課題として挙げられた主なものは次のとおりです。

(1) ごみ排出抑制・資源化に関する課題等

① 排出抑制

圏域内のごみ排出抑制は、基本的に構成市町村が主体となって取り組む施策、事業によるところが大きく、広域連合が行う排出抑制策、取り組みには限界があります。

広域連合として、圏域内の排出抑制に向けた効果的な取り組みを行うための、構成市町村との連携・協力体制の確立が課題となっています。

特に広域連合清掃センターで焼却処理されるごみの93.7%（平成25年度実績）を占める日向市、門川町の取り組みが排出抑制に大きく影響するため、両市町との連携、協力が大切です。

② 資源化

廃棄物の資源化の推進には、構成市町村の統一した取り組みが求められますが、現時点では分別品目の統一に至っていません。構成市町村それぞれが抱える課題等がある中で、それぞれの課題等を考慮しつつ、いかにして資源化、分別品目の統一化を進めるかが課題です。

(2) 処理体制に関する課題等

圏域内の美郷町、諸塚村、椎葉村の中山間地域と日向市、門川町の沿海部とでは、地理的条件、財政事情、人口、産業構造、生活様式等、異なる要素が多く、こうした構成市町村で異なる事情を考慮しつつ、最も効率的で効果的な処理体制を整備することが課題です。

第5節 基本計画（中間見直し）

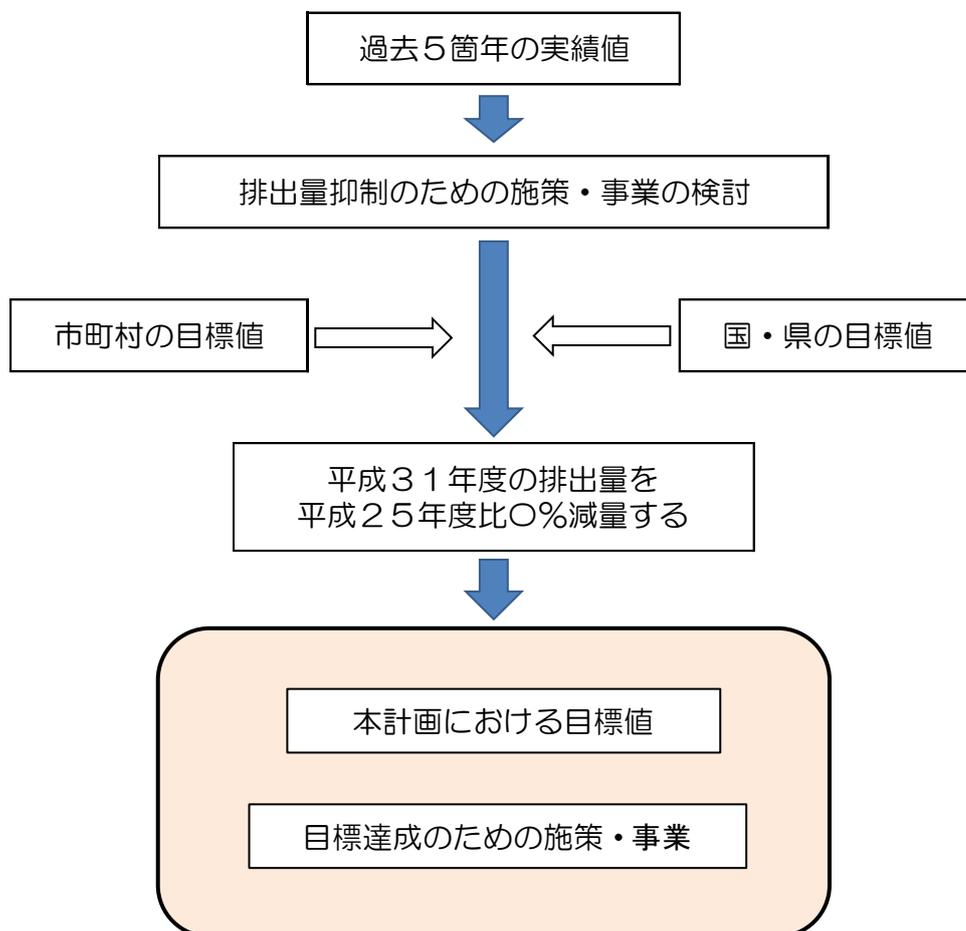
1 基本方針

- 構成市町村と連携した廃棄物の排出抑制
- 処理体制の整備
- CO₂の排出抑制のための適切な処理施設の運営管理

2 目標

今回の計画見直し初年度から次期中間見直しを行う平成31年度までの、圏域全体のごみ排出量削減目標を、次のとおり設定します。

(1) 目標値設定の考え方



《国・県の目標値》

■環境省：第三次循環型社会形成推進基本計画における一般廃棄物の減量化目標

| 指 標 | | 平成32年度目標 |
|----------------------|---|-------------------|
| 一般廃棄物の減量化 | 1人1日当たりのごみ排出量 (計画収集量、直接搬入量、集団回収量を加えた事業系を含む一般廃棄物の排出量) | 平成12年度比で 約25%減 |
| 1人1日当たりの 家庭系ごみ排出量 | 家庭からの1人1日当たりごみ排出量 (集団回収量、資源ごみ等を除く) | 平成12年度比で 約25%減 |
| 事業系ごみ排出量 | 事業系ごみの総量 | 平成12年度比で 約35%減 |

出典：循環型社会形成推進基本計画（平成25年5月）

■宮崎県：一般廃棄物の減量化等の目標値

| | 平成20年度 | 平成27年度 | 平成32年度 |
|----------------------|-----------|-----------|-----------|
| 人 口 (参考値) 人 | 1,161,197 | 1,094,769 | 1,055,109 |
| 排出量 千t | 428 | 391 | 373 |
| 1人1日あたりの排出量 g/人・日 | 1,009 | 979 | 970 |
| 再生利用量 千t | 78 | 98 | 95 |
| 再生利用率 (リサイクル率) % | 18.4 | 25.0 | 25.0 |
| 最終処分量 (最終処分率) 千t | 55(12.8%) | 43(11.0%) | 41(11.0%) |

出典：宮崎県環境計画（平成23年3月）

(2) 目標値

平成25年度実績を基準とし、平成27年度から平成31年度までの5年間で、構成市町村のごみ排出量を8%減量します。

※平成25年度実績：31,634トン

《目標値の考え方》

1人1日当たりの排出量を基本に、日向市においては、平成25年度実績において、既に宮崎県環境計画の減量化目標を達成しており、また門川町においても同計画に掲げられた目標に近い数値であることから、日向市、門川町では、国（環境省）の循環型社会形成推進基本計画に掲げられている目標値（平成12年度を基準に平成32年度の削減率25%）の達成を目標とすることとし、その場合の平成31年度の排出量予測を参考にしました。

一方、美郷町、諸塚村、椎葉村では、類似都市との比較において、排出量が約20%～40%抑制（平成25年度実績）されており、既に一定の排出抑制が図られていることから、平成25年度実績における1人1日当たりの排出量を、平成31年度においても維持することを目標としました。

こうしたことを踏まえた圏域全体の排出量を削減目標（削減率）として設定したものです。

第5節 基本計画（中間見直し）

《日向市・門川町》

単位：g/人・日

| | 循環型社会形成推進基本計画 | | | 平成31年度 目標値 |
|-----|---------------------|-------------|-----|---------------|
| | 基準年度排出量 (平成12年度) | 32年度 削減率 | 目標値 | |
| 日向市 | 1,217 | 25% | 913 | 917 |
| 門川町 | 1,164 | 〃 | 873 | 900 |

※平成31年度目標値は、一般財団法人日本環境衛生センター西日本支局の「ごみ処理基本計画改定に係る調査分析業務報告書」に基づく。

《美郷町・諸塚村・椎葉村》

単位：g/人・日

| | 平成25年度実績 | 平成31年度目標値 |
|-----|----------|-----------|
| 美郷町 | 618 | 618 |
| 諸塚村 | 484 | 484 |
| 椎葉村 | 465 | 465 |

(3) 目標値（8%）達成時の排出予測

| | 日向市 | 門川町 | 美郷町 | 諸塚村 | 椎葉村 | 圏域全体 |
|-------------------|--------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 排出量 (t/年) | 20,867 | 6,031 | 1,251 | 295 | 468 | 28,912 |
| 1人1日当り (g/人・日) | 917.0 | 899.7 | 617.6 | 483.9 | 464.6 | 873.4 |

3 計画を推進するための施策等

計画の推進と目標達成に向け、目標年度の平成31年度までの計画期間中に広域連合が主体的に取り組む施策は次のとおりです。

(1) 廃棄物排出抑制・ごみ減量化

① 清掃センターごみ処理手数料徴収の調査・研究

現在、清掃センターに搬入されるごみは全て無料で処理されていますが、全国的に見ると、焼却施設に搬入されるごみの処理については92%※6の自治体において有料化され、処理手数料を徴収しています。

処理手数料を徴収することにより、排出者（搬入者）に経済的インセンティブが働き発生抑制効果が期待できることから、処理経費の一部負担を利用者に求めることについて、構成市町村の施策との調整を図りながら調査、研究します。

また、大量排出者とそうでない者との処理に係る経費負担の公平性の確保、構成市町村の財政負担の軽減の面からも、手数料徴収について調査・研究を行います。

※6：平成23年度環境省「廃棄物処理の3R化・低炭素化改革支援事業委託業務報告書」

② 事業系廃棄物の適正処理

これまで基準が曖昧であった事業系廃棄物の受け入れに関し、日向市では平成24年度から基準の見直しによる適正受け入れを開始したことにより、清掃センターに搬入されるごみの量が大幅に縮減されました。

同様の適正処理が、全搬入量の24.9%を占める門川町においても行われることにより、清掃センターに搬入されるごみの減量化が予測されることから、同町との連携、協力した事業系廃棄物適正処理の取り組みを推進します。

③ 啓発の充実

構成市町村との連携、協力体制を密にし、広報誌やホームページ等を活用した、より一層の啓発活動を行い、減量化、資源化を推進します。

また施設見学会を主体的に実施するとともに、見学希望者、団体の受け入れを積極的に行い、圏域内住民の意識の向上、小中学生の環境教育を推進していきます。

(2) 再生利用・資源化の推進

現在、構成市町村で異なっている分別品目を、最も分別が進んでいる日向市の内容に統一することとし、圏域内の資源化をさらに進めます。特にプラスチック製容器包装の分別収集については、平成29年度までに全構成市町村での完全実施を目標として取り組みます。

(3) ごみ処理体制の整備

① 処理体制の統一

第5節 基本計画（中間見直し）

ごみ処理については構成市町村それぞれ事情が異なるものの、収集・運搬から最終処分に至る一連の業務の中で、広域的に統一した処理が可能な部分については、統一して共同処理することが、広域連合としての経済性、効率性を発揮するメリットがあります。

そのため、どのような業務において統一が可能かの検討を行い、可能と判断されるものについては広域連合において統一した処理体制を整備します。

② 日向市一般廃棄物最終処分場

平成25年4月から、門川町、美郷町、諸塚村、椎葉村から排出される不燃系廃棄物処理残渣を日向市一般廃棄物最終処分場において受け入れを開始したことから、同処分場は、現在、広域連合を構成する1市2町2村で供用されており、今後もこの状況は維持されるものと思われま

す。焼却施設や最終処分場等の廃棄物処理施設については、処理体制を統一し、広域での有効利用、事業コストの削減等、効率的運用を図ることが望ましく、同処分場についても日向市から広域連合へ移管され、共同処理することが適当です。今後、日向市と協議を進めます。

③ 次期一般廃棄物最終処分場整備

次期最終処分場については、現在1市2町2村で供用している日向市一般廃棄物最終処分場の埋め立て終了年を考慮して整備計画を進めることが、平成26年5月開催の広域連合正副連合長会議において意思決定されており、平成30年度を目途に次期最終処分場用地の先行取得に着手します。

なお、これまで宮崎県ごみ処理広域化計画の中で、門川町、美郷町、諸塚村、椎葉村の2町2村で1箇所、最終処分場を整備するとされた計画は見直しを要することから、今後県との協議を進めます。

また、2町2村による最終処分場整備計画の廃止に伴い、広域連合規約において最終処分場整備の共同処理を行う団体とはなっていない日向市の共同処理事務への参加を検討します。

(4) 清掃センターの適切な運転管理と施設整備

清掃センターに搬入されるごみ量、ごみ質に的確に対応した、効率的な運転管理を行い、環境への負荷、CO₂の排出抑制に努めます。また基幹的設備改良事業（平成26年度完了）後の長寿命化計画に基づいた計画的な施設整備、保守点検を実施して延命化を図ります。

(5) その他

① 構成市町村・関係機関・団体との連携

広域連合構成市町村との連携はもとより、日向・東臼杵市町村振興協議会、日向入郷4R推進協議会、その他の関係機関とも連携しながら、4R^{*7}を推進するための具体的な事業に取り組みます。

※7：リフューズ(Refuse)：不要なものを買わない。
リデュース(Reduce)：ごみを減らす。
リユース(Reuse)：再使用する。
リサイクル(Recycle)：再生利用する。 の4つのR

② 災害廃棄物処理

国の災害廃棄物処理対策指針、県の災害廃棄物処理計画、構成市町村の計画の内容と整合性を図りつつ、広域連合において行うべき災害廃棄物の処理に関する計画を策定します。

③ 情報公開

排ガスの測定結果など、清掃センターの管理運営状況については、広域連合のホームページ等により適切に情報公開します。

■参照資料：別冊「ごみ処理基本計画改定に係る調査分析業務報告書」
一般財団法人 日本環境衛生センター西日本支局